

アルゼンチン赴任者の手引

アルゼンチン赴任者の手引

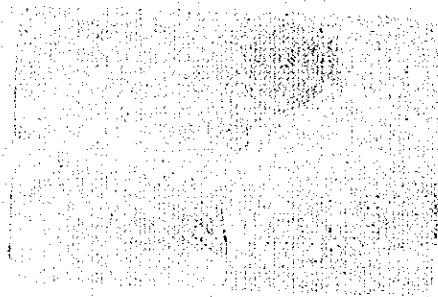
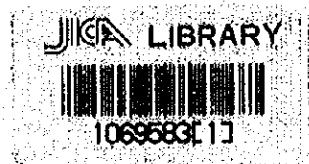
1984年1月

国際協力事業団
ブエノスアイレス支部

701
20
BA
BRARY

C/01
20
BA

18268



目 次

I. JICA支部及び職員・専門家のア国におけるステータス	1
1. JICA支部のステータス	1
2. 派遣職員・派遣専門家のステータス	1
3. 派遣職員・派遣専門家に対する公用旅券の発給	2
4. 派遣職員・派遣専門家のア国査証	3
II. 引越荷物と送る方法	3
1. 持って行くものと持って行かないもの	3
2. 手荷物として持って行く場合	6
3. 別送荷物として送る場合	7
III. 引越荷物のグッズ・アイスにおける通関事情	8
1. 手荷物の通関手続	8
2. 別送荷物の通関手続	8
IV. 着任直後の関係当局への手続	9
1. ア国外務省儀典局への職員・専門家の登録	9
2. 自動車運転免許証の交付申請	10
3. グッズ・アイス日本人学校への転入学手続	10
4. 日本大使館への在留届	11
5. 在亜日本商工会議所会員の任意加入	11
6. セイボウ会会員の任意加入	11

V	あらかじめ準備し持参する書類等	12
	1. 写真	12
	2. 国際運転免許証	12
	3. 旧在籍校から持参する必要書類	12
VI	自動車の輸入又は購入	13
	1. 免税の取得	13
	2. 輸入車購入の場合の手続	14
	3. 国産車購入の場合の手続	14
	4. 輸入車が国産車かの選択	15
	5. 自動車価格	16
	6. 自動車保険	18
VII	住宅事情と使用人	23
	1. 一般住宅事情	23
	2. 貸家(アパート)	23
	3. アパートの探し方と必要資金	24
	4. 電力事情	25
	5. 水道事情	25
	6. 家庭用燃料	25
	7. 使用人	26
VIII	家具・什器・電気製品	26
	1. 家具・什器等	26
	2. 電気製品	27

VIII. 食生活、食料品	28
1. 食生活	28
2. 食料品	28
X. 服装と衣料品	29
1. 気候と服装	29
2. 衣料品	30
XI. 医療・保健・衛生事情	31
1. 一般事情	31
2. 医療施設・病院	32
3. 出産	33
4. 健康保険と医療費	33
5. 健康管理	34
6. 医薬品	35
7. 衛生	35
8. 理容・美容院	35
XII. 教育事情	36
1. 渡航する前に	36
2. 日本人学校	36
3. 現地の教育事情	38
XIII. 交通・運輸・通信事情	39
1. 市内交通	39

2. 自家用車	40
3. 国内交通	40
4. 通信	43
XIV. ホテル・レストラン事情	44
1. ホテル事情	44
2. レストラン事情	46
3. ティップ	47
XV. 娯楽・スポーツ・交際	48
1. 一般事情	48
2. パーティー	48
3. 文化活動	48
4. テレビ・映画	48
5. 新聞・雑誌・書籍	48
6. 賭けごと	48
7. ゴルフ	48
8. スポーツ	49
9. 観光	49
10. 海の家	49
11. 交際	49
XVI. 日系社会	50
1. 邦人数・職業分布	50
2. 大使館・公的機関など	50
XVII. 通貨と両替	51

XVIII. 簡単なスペイン語会話

<参考資料>

1. ブエノスアイレス日本人学校紹介
2. 国際空港案内図 (成田、羽田、新千原, ブエノスアイレス)
3. ベルグラノ地区市街地図
4. ブエノスアイレス市内地図
5. アルゼンチンの地図
6. 世界主要地域時差表

I. JICA支部及び職員・専門家のア国におけるステータス

1. JICA支部のステータス

(1) JICA支部は、外交領事機関、国際機関その他協定に基づく特殊機関に準ずる公的機関として認められ、ア国外務省儀典局に登録されている(1983年1月)

(2) 支部に対する免税特権及び法的根拠は次のとおり。

1. 各種国税 ----- 経済省決定第331号

ロ. 所得税(利子所得を含む) ----- 外務省口上書第8490/74号

ハ. 輸入税 ----- 大統領令第25号

二. 移住地建設に必要な

機械類の輸入税等 ----- 大統領令第1523号

なお、JICA支部は、日ア技術協力協定においてその法的能力が認められている。

2. 派遣職員、派遣専門家(日語指導教師・移住農業専門家を含む)のステータス

(1) 外交・領事機関、国際機関その他協定に基づく特殊機関に所属する公的職員に準ずる公的職員として JICA 駐在員・職員及び専門家の受入れが認められ、ア国外務省儀典局に正式に登録される。

(2) 技術協力協定に規定している JICA 駐在員等として直接的に認められたわけではなく、上記の結果、間接的に JICA 駐在員等として認められたことになる。

(3) したがって、JICA 派遣職員(技協担当・移住担当に関係なく)、専門家に対する特権、免除及び便宜については、技術協力協定

第6条の規定が適用されるものではなく、外交領事機関、国際機関
その他協定に基づく特殊機関に所属する公的職員に対する免税
特権を定めた大統領令第25号が準用される。

(4) 職員・専門家及びその家族に対し任務を遂行するために必要
な援助がア国政府の関係当局によって与えられる旨を記した
身分証明書 がア国外務省儀典局より交付される。

3. 派遣職員・派遣専門家に対する公用旅券の発給

(1) 上記の公的職員として登録されるためには、公用旅券の所持
が必要不可欠であり、JICA文部に派遣される派遣職員、
移住農業専門家、日語指導教師、及びア国関係機関に派遣
される技術専門家に対しては、業務担当の区別なく、全員に
公用旅券が発給されることになっている。

(2) 公用旅券の発給依頼の手続は、昭和58年11月28日付通達
「公用旅券発給依頼等取扱要領」により、行っているが、
この際、特に注意したいのは、公用旅券に記載する官職名である。
官職名は、相手国に長期滞在中の身分を示す要素ともなっている
こと、また、ア国におけるステータス上、その官職名によって相手国当局
から不要な疑惑をまぬかぬよう、配慮が必要があることから
例えば「移住農業専門家」が日本国内における職業が「名古屋
大学教授」であるから、その官職名を「名古屋大学教授」と記載
するのはではなく、次のような官職名に改めることが望ましい。

1. Expert on 専門分野名

2. Assistant Resident Representative of Japan
International Cooperation Agency

3. Staff of Japan International Cooperation Agency

4. 派遣職員・派遣専門家のア国査証

(1) 公用査証の取得申請

公用旅券所持者は、入国する当該国の公用査証を取得する必要がある。公用査証の取得申請は、外務本省の口上書により、在京大使館に申請していただくことになっており、このため、公用査証を取得するときは、外務省指に対し、公用査証申請用口上書発給請求資料（外務省指定用紙）を作成し提出する必要がある。

(2) ア国査証

在京ア国大使館から発給される公用査証は、「Termino de la misión」と記載されたア国滞在は、任務終了まで許可されることになる。

II. 引越荷物と送る方法

1. 持って行くものと持て行かないもの

VII以降記載のア国一般事情、その他参考書を参照のうえ、持って行くもの、持ていかなないものについて各自判断することになりますが、衣類及び日用雑貨類は、事情の許す限りお持ちになるようお願いいたします。その中で持って行くもの、行かないものに大別すると次のとおり

(1) 持って行かないもの

- 大型家具類（運賃もかさむ、アセンションでは家具付アパートが多い。）
- ガス器具類（日本の器具は、現地では使用不可）
- 日用雑貨品類（値段が高くなる、現地でも入手可能なものは、現地調達する）

(2) 持て行くもの

現地で入手困難なもの、又は入手できても高価なものを中心に列記してみます。※印の物は特に忘れなくお持ち下さい。

電気製品：トースター、※電気がま、ラジカセ又はトランジスターラジオ、※電卓。

食器類：盛りつけ用大皿等の陶器、※米客用の上等の食器、茶器、急須、※漆器類、箸。

調理用具：包丁（出刃と刺身用）、砥石、すり鉢、すりこ木、おろし金、かつお節けづり器、せいろ等の和食用調理器具、※ポット、お盆、プラスチック漬け物器、中華及び圧力ナベ。

日用雑貨：寝具、寝巻、※カメラ（特に全自動のは便利）、折りたたみ傘、魔法ビン、体温計、アイスノン、ゴム製品、温度計、カンナ、ノコ等。

衣料品：※下着類、普段着、※ストッキング、靴下、靴、※デトロン混紡のワイシャツやブラウス、ニットのズボン、パンツロン、スポーツシャツ、※カーディガンやセーター、コート、乳児・子供用の当座の衣料品。

学用品：国語・算数・理科・作文の小学生用ノート（特に縦書きの）、中学生用英文ペン習字用ノート、習字用半紙・筆・墨、下敷き、筆箱、シャープナ、※そろばん、当座使用の筆記用具、クレオン、絵具など、ランドセル（低学年のみ）、弁当箱と水筒、※前ゴムのズック靴、色紙や折紙なども若干。

書籍類：※西和・和西辞典、※英和・和英辞典、※国語辞典等。学習参考書、事典、図鑑集、問題集、子供用読物、絵本など料理、育児、家庭医学等の参考書、趣味の本など。

薬品及び化粧品：※持病の薬、※普段使い慣れている一通りの薬品及び化粧品類。

レジャー：おもちゃ、ゲーム類、趣味に応じてゴルフ、テニス、釣り道具など。

以上主なものを列記しましたが、これは一応の目安です。これに家族構成・滞在年数・好みの間

題にもより各人でいろいろ違ってくると思いますので、適時ご判断下さい。

<参考事項>

①前記の引越荷物中、現地到着後すぐ使用する台所用品・衣類・寝具・書籍学用品などは、手荷物としてお持ちになるか、航空貨物として送ること。

②日本の電気製品は電圧やサイクル数を予めアルゼンチンの電圧（220ボルト）とサイクル（50サイクル）に調整しておくか、変圧器を携帯すると便利。

③電気製品も日本製の物がずっと品質も良いので出来る丈持込みたい。

④習慣の違いから上半身につける男性用の下着、女性用のスリッパは使用されずほとんど市販されていないので、それらの下着類（特に木綿の）は充分に持参のこと。

⑤薬品・化粧品に関しては欧米系の製品も豊富にあるが、成分が強かったりして最初は体質に合わない場合もあるので、当座使用する分を持参し現地のものと交互に使い徐々に慣らすとよい。

⑥成長期の子供の衣服と女性の新調のドレスは、現地調達が望ましい（但しパーティー用の絹のドレス最低1枚は必要）。男性の背広は三つ揃いを持参した方がよい。

(3) 必需品と思われるもの

電気炊飯器, おき焼永たき用鍋, 鉄板焼用金鍋,
お盆, 和食器, 和用什器備品類, 漆器類,
電気アイロン(スチーク式), 魔法ビン, 包丁(出刃と刺身用)
変圧器, 医薬品, 栄養剤, 常備薬, 折たたみ傘, など.

なお, 醤油は当國産は日本産に比べ味が劣るので携行
した方がよい。又, 和食でも鯉節, 出し昆布, 海苔, 茶
椎茸, 麵類(ソバ, ウドン, ソーメン, ラーメン), 漬
物(瓜の粕漬, 福神漬), 佃煮, 日本酒, その他特殊調
味料(ワサビ, セミ唐辛子, 味噌, 出しの氣...)等は
当地では入手が不可能であるから 携行することが望ま
しい。

スポーツ用品, 学用品, 男用ワイシャツ, 婦人用ブラウス, 下着
(特にコルブ)

(4) 持てくると便利なもの

ミシン, 電子レンジ, 冷凍冷蔵庫, カメラ, ビデオ,
電気洗たく機, カラーテレビ, レインコート, ロングドレス,
冠結婚祭用礼服, 電扇, お祝などののし袋, 電気掃除機
釣り道具, ビジネス用名刺, 贈答品, 弁当箱

(注1) 家具付住宅で一般的についている家具類は, 次のとおり
ただし, 旧式のものが多いので, 留意のこと。

電気洗たく機, ガスレンジ, 食卓, 電気冷蔵庫, くつ付タンス
ベッド, 応接セット, 車客用食卓, 電話, カーテン,
シャワー, 電気掃除機,
場合により, テレビ, 洋食器, エアコン, 電気スタンド, 乾毛機

(注2) 現地に売っている電気製品

テレビ(白黒・カラー)、ビデオテレビ、ラジオ、トースター、
コーヒーカ、電気冷蔵庫、電気洗たく機、エアコン、アイロン
電気掃除機、ジョーサー、ヘアドライヤー、扇風機など

2. 手荷物として持って行く場合.

(1) 通常、無料手荷物許容量は、一人につき、2個までで、
次のような範囲が原則となっている。

<無料手荷物許容量>

(エコノミー・クラス、お一人につき)

2個まで(1個のサイズ=縦・横・高さの
3辺の和の総計が158cm以内のもの。但し
2個のサイズの和の合計が273cm以内)。
1個32kg以内、従って2個だと64kg以内。
さらにサイズが115cm以内の手荷物を機内
に持込めます。子供(除幼児)の場合も、上
記と同じ条件が適用されます。
(1981年11月現在)

なお個数・サイズ等が規定量を超えた場
合の超過手荷物料金は1個につき¥37300です。

(1981年11月現在)

(2) RG833便を利用する場合は、ウエリフ航空のサービス
により、一人当たり、4個まで、無料手荷物として持って行く
ことが可能です。詳しくは、旅行代理店にご相談下さい。

(3) これら手荷物を自宅より成田空港まで運ぶ運送業者に
依頼すれば、出発日の2~3日前に自宅まで取りに来るため、
手間が省け、便利です。

3. 別送荷物として送る場合

フリスアイズ到着後、当分の間の必需品は、手荷物として持て行き、緊急に必要でないものは、別送荷物として送ることになる。別送荷物を送る方法としては、航空貨物として送る場合と海上貨物として送る場合がある。それぞれのメリト、料金は、次のとおり

(1) 航空貨物（通称、アナカンと呼ばれる）として送る場合

1. 料金は、海上貨物よりは高いが、早く到着する利点がある。
2. 成田～フリスアイズ間のアナカン料金は、次のとおり（ただし、57年7月当時の値段）

45kg 以下	1kgあたり	4,686円
45kg ~ 100kg	〃	3,472円
100kg 以上	〃	3,274円

上記のほか、通関取扱業者の手数料が必要である。

(2) 海上貨物として送る場合

1. 到着が遅れるが、重量のかさばものなど、アナカンよりは料金は安く、大量に送る利点がある。
2. 別送荷物の船積用梱包、自宅から横浜港までの運送、通関取扱いまですべてを行う。海外引越業者に依頼すれば便利である。
3. 海上貨物の横浜港からフリスアイズ港までの間の海上輸送料は、次のとおり（ただし、57年7月当時の値段）

・ 1m ³ 当り	63,000円（船賃）
・ 手数料	22,000円（梱包、船積、通関料含む）
・ 上記のほか、自宅から横浜港までの運賃が必要である。	
・ 上記船賃は、フリスアイズ港までの料金であり、フリスアイズ	

港から、アパートまでの料金は別料金となる。

Ⅲ. 引越荷物のグッズ・アイズにおける通関事情

1. 手荷物の通関手続

(1) 手荷物は、RG833便を利用すると成田空港で預けたら、グッズ・アイズのエセキ空港まで引き取るまで手を煩わせずに行き行くことができる。RG833利用のグッズ・アイズの乗客は、オデッセイのガレオン空港でトランジットルームに案内され、約一時間の待ち合せてRG916便に乗り換える。

一方、預けた手荷物は、オデッセイにおいて引き取りせずに、ワイルド航空の方でRG833からRG916に積み換えるのがたいへん便利である。

(2) 手荷物のエセキ空港での税関については、RG916便内で手荷物申告書2枚手渡されるので、2枚とも記入し、エセキ空港で2枚とも提出することになる。外交団その他ミッションは、申告書提出のみで中身を調べず、かつ無税で通関できる。申告書提出とともに公用旅券を提示し、かつ在日ア国大使館の査証が *Oficial, Termino de la mision* と記載されているので問題ないと思われる。ただし、手荷物の量が大量で通関が不安な場合には、成田を出發する前に手荷物明細書を作成し、あらかじめ同明細書をJICA支部に送付すれば、JICA支部で手荷物の免税通関の手続を行うことも可能であるので、この方法をお勧めする。

2. 別送荷物の通関手続

別送荷物の通関は、次のような手順となり、着任後6ヶ月以内に輸入される引越荷物は、JICA支部派遣職員派遣

専門家の場合は、無税にて通関できる。

- (1) B/Lが JICA支部に到着したら、直ちに引越荷物の免税申請をア国外務省儀典局に申請する。
- (2) 儀典局の免税許可書が交付されたら、直ちに通関業者に渡し、引越荷物の無税通関の手続、港からアパートまでの運搬を依頼する。
- (3) 日本車を送る場合は、海上貨物として別送することになるが、上記(1)、(2)と同様の手続となる。
- (4) B/L及び梱包貨物には、JICA支部の住所、電話番号を記載するとともに個人名を必ずつける。

IV. 着任直後の関係当局への手続

1. ア国外務省儀典局への職員・専門家の登録

次の手続により、ア国外務省儀典局に職員・専門家の登録及び身分証明書発給依頼を行う。

- (1) 儀典局指定用紙(別添 Datos del Funcionario de Organismo Internacionales)により儀典局に登録される。(指定用紙は、JICA支部にて保有し、所定事項を記載のうえ、儀典局に直接提出申請する。)登録対象は、派遣職員、技協専門家、移任専門家、日語指導教師の本人のみである。
- (2) 職員・専門家の登録と併行的に身分証明書発給依頼について儀典局にJICA支部が申請する。

10

この身分証明書は、パスポートに代わる証明書で、かつ、滞在申請書その他官憲当局より身分証明書の提示を求められたときは、効果を發揮するもので、重要な証明書である。よって、身分証明書発給依頼は、本人のみならず、家族全員を対象に行う必要がある。

ス. 自動車運転免許証の交付申請

(1) 儀典局より身分証明書が発行されたら直ちに、フレスアイズ市の交通局に出頭する。自動車運転免許証の交付を申請する。

(2) 自動車運転免許証の交付申請は、次の書類を提出又は提示するのみで、交通法規等の試験はないので、安心できる。

イ. パスポート

ロ. 身分証明書

ハ. 運転免許証交付申請書

ニ. 写真 (カラー写真、3.7×4.2 cm 2枚)

ホ. 国際運転免許証

(3) 自動車運転免許証の交付申請には、国際運転免許証は絶対必要なので、成田出発前に各都道府県の警察本部に出頭し、国際運転免許証の交付を受けて来る。本人のみならず、日本の運転免許証があれば、配偶者についても国際運転免許証の交付を受けた方が望ましい。

3. フレスアイズ日本人学校への転入学手続

入学申請書に所定事項を記入し、日本文化教育協会長に提出する。申し込み手続が終了後、児童生徒同伴の上、

プレス・アイズ日本人学校に赴き所定の手続を遂行する。

4. 日本大使館への在留届

日本の住民登録に相当する届で、現地到着後に、滞在地を管轄する在外公館に提出する。定められている書式があるのだから大使館から取り寄せ、記入のうえ届る必要がある。外地での出生、婚姻、死亡などの届や、その他各種の公的証明書発行は在外公館が取り扱っているが、在留届はその基礎となるものである。

5. 在亜日本商工会議所会員の任意加入

日本からの進出企業と日系企業との産業界の組織として在亜日本商工会議所が設立されているが、JICA支部では、4名の派遣職員が会員に加入している。

同商工会議所に加盟している企業は、計84社が加盟し、会員約80名となっている。大使館員(日本からの派遣のみ)9名は、名誉会員となっている。毎週火曜日に火曜会が開催されている。

6. セ休会会員の任意加入

セ休会は、アルゼンチン国花にちなんで「セ休会」と呼称し、会員は、現地在住夫人の任意団体として会員相互間の親睦友好をはかり、アルゼンチン社会について広く見聞知識を深めると共に、必要に応じて一般的文化教養、慈善等の活動を行っている。JICA支部関係では、派遣職員の方6名が会員に加入している。

V. あらかじめ準備し持参する書類等

渡航前にあらかじめ準備し持参すべき書類は次のとおり。

1. 写真

(1) ア国外務省儀典局への職員・専門家登録用

4 × 4.2 cm 3枚 白黒 本人のみ

(2) ア国身分証明書申請用

4 × 4.2 cm 各自3枚 白黒 家族全員

(3) 自動車運転免許証申請用

3.6 × 4.2 cm 各自3枚 カラー 国際運転免許証
所持者のみ

2. 国際運転免許証

ア国自動車運転免許証申請のため必要。

3. 旧在籍校から持参する必要書類

ブエノス・アイレス日本人学校に転入学申請のため、旧在籍校から持参する必要書類としては次のとおり。

(1) 在学証明書

(2) 指導要録写

(3) 身体検査票

(4) 歯牙検査票

(5) 教科書給与証明書

(6) 指導要録の抄本 (中1への新入生のみ)

VI. 自動車の輸入又は購入

1. 免税の取得

(1) 免税取得

JICA支部派遣職員、派遣専門家（移住農業専門家、日本語指導教師を含む）は、大統領令第25号及び技術協力協定第6条の規定により自動車を購入し、又は日本から輸入する際、免税にて取得できる。（技協担当、移住担当に区別なく、全派遣職員、派遣専門家は、免税特権を享受できるようにした。）

(2) 輸入車と国産車の免税特権の取扱ひのちがひ

輸入車と国産車の免税特権の取扱ひには相違があり次のとおりとなっている。

	輸 入 車	国 産 車
売却の際の免税の取扱ひ	取得後4年以降に売却する場合は、免税にて売却することが可能	取得後2年以降に売却する場合は、免税にて売却することが可能
1/2税支払いたる売却	取得後2年以降4年以内に売却する場合は1/2の税支払いたる売却が可能	取得後1年以降2年以内に売却する場合は1/2の税支払いたる売却が可能
全額税支払いたる売却	取得後2年以内に売却する場合は、全額税支払いたる売却	取得後1年以内に売却する場合は、全額税支払いたる売却

2. 輸入車購入の場合の手続

- (1) 日本において輸出用自動車注文・購入する。
- (2) 別送貨物として航空貨物(アカーン)又は海上貨物のいずれかの方法で通関・発送の手配をし、通関業者にB/Lを作成してもらう。
(B/Lに必ず個人名を記載すること)
- (3) B/Lは本人持参の上、渡航するか、又は後日通関業者からブリス・アリスに発送してもらうか、いずれかの方法をとる。
- (4) 本人着任後、JICA支部において免税輸入の申請書類を作成し、B/L添付の上、ア国外務省儀典局に提出する。
- (5) 儀典局から免税輸入許可書が出たら、同許可書を通関業者に手渡し、免税による通関手続を依頼し、同車輛を受取る。
- (6) 同時に同車輛の関係書類をもとに、車輛取扱の保険業者に第三者傷害保険に加入の手続きを行い、同業者より保険加入証明書を発行してもらう。
- (7) 保険加入証明書を添付して、ME (mission especial) の車プレート番号取得申請書を儀典局に提出し、車プレート(緑)を取得する。

3. 国産車購入の場合の手続

- (1) 購入車種を決定、決定したら、免税自動車購入申請書に購入車種を記載し作成の上、JICA支部からア国外務省儀典局に

提出する。

- (2) 併行的に自動車販売店に自動車購入の注文を行う。この場合、免税購入である旨申し出る。
- (3) 儀典局から免税自動車購入許可書が出たら同許可書を自動車販売店に手渡す。
- (4) 最終的に支払いを済ませて車を受取る。
- (5) 車が届いたら直ちに同車の関係書類をいかに、自動車保険取扱の保険業者に第三者傷害保険(強制保険)に加入の手続きを行い同業者より保険加入証明書を発行してもらう。
- (6) 保険加入証明書を添付して、ME (mission especial) の車プレート番号取得申請書を儀典局に提出し、車のプレート(緑)を取得する。

4. 輸入車か国産車かの選択

- (1) 輸入車については、現在輸入禁止措置がとられている。しかし、外交団、その他ミッションに対しては禁止されているわけではないので輸入車を輸入することは可能である。
- (2) 輸入車の輸入が禁止されている結果、本体のみならず部品も入ってきていない現状にある。したがって、免税により輸入車を輸入することは可能であっても修理・修繕の場合部品が必要となれば新たに日本から部品を取り寄せる必要があり、輸入部品は結果的に高いものになること、時間を要するなどの欠点がある。(ただし、故障率は少ない)

(3) 国産車を購入する場合、一般に市販されている車を免税にて購入することはできない。市販のものはすでに税込みにて販売されているからである。したがって国産車を免税にて購入する場合は、新たに注文が必要がある。注文は原則的には、儀典局の免税自動車購入許可書が出てから、同許可書を自動車販売店に提示して注文するのが普通のものであるが、販売店の信用により実際は、同許可書がなくても注文できる。

(4) 国産車の場合には、修理修繕にあたっては、部品その他は十分あり、輸入車よりは、時間を要せず修理できるのがメリットである。

5. 自動車価格

自動車の価格は法外に高い。例えば国産車の Fiat 500 (1500cc相当) が US \$ 10,000, Ford Taurus Ghia (2200cc相当) が US \$ 18,000 である。

1979年3月より外車の輸入が認められたがトヨタ・セリカ (1700cc) が US \$ 15,000, ダットサンフルガード (1800cc) が US \$ 15,000 である。(次ページの価格表参照)

自動車の値段は極めて高いが分割払の制度も普及している。但し激しいインフレのため割賦額スライド方式を採用しているので注意を要する。国産車の場合免税許可を得ると約40%安くなる。

自動車を免税で購入する場合に特に注意することは、新たに日本から注文輸入するときは、免税取得できるが、すでに市販されている輸入車あるいは日本車を購入する場合は、すでに税込みにて販売されているため、免税扱いにできない。国産車についても同様、一般に市販されている車を免税にて購入することはできない。国産車を免税にて購入する場合は、新たに注文する必要がある。

市内で販売されている自動車価格 (83年11月現在)

Precio de los 0 km

A renglón seguido se indica el precio al 1° de este mes o a la fecha que se indica de los vehículos cero kilómetro nacionales e importados proporcionado por la Asociación de Concesionarios de la República Argentina (ACARA) y por algunas fábricas de automóviles.

Los precios figuran en pesos argentinos, de acuerdo con la estimación hecha por ACARA.

Los valores se componen del valor básico más todos los impuestos.

CITROËN IMPORTADO		\$a
CX-200 - Athena c/a.a.	330.000	
CX - GTI m-Inv. c/a.a.	508.000	
Visa - Super II	164.000	
DAIHATSU		\$a
L55 - FKD Cuore 2 p	93.000	
L55 - EKD Cuore 4 p	98.000	
G10L - GKD Charade XO	135.000	
G10L - GNG Charade Lujo	153.000	
G10L - FMG Charade coupe	163.000	
A40L - EKD Charmant Std	153.000	
S60L - TR Wide Cab	89.000	
S60L - VR Wide Cab Van	115.000	
DATSUN		\$a
120 AS Sedan 5 pias. MT	145.500	
120 AC Cupé 3 pias. MT	145.500	
180 BBS Sedan 4 pias. MT	259.300	
180 BBS Cupé 2 pias. MT	270.800	
180 BBR Rural 5 pias. MT	247.800	
180 SX Cupé 2 pias. MT	236.900	
200 Laurel Sedan 4 pias. MT	433.000	
200 Laurel Sedan 4 pias. AT	450.800	
280 ZX Cupé 2 pias. MT	560.000	
280 ZXT Cupé 2 pias. MT	602.600	
1800 P-UP Pick-up c/lujo	241.500	
1800. 4wd Pick-up c/n. d/l.	202.400	
2200 Diesel Pick-up diesel	208.000	
FIAT (1)		\$a
Automotores		
147 CL6 1100 5v	126.746	
147 TR5 1300 5v	136.484	
Súper Europa 1300 5v	159.036	
Súper Europa 1500 5v	174.233	
Súper Europa 1500 Familiar	185.553	
147 Sorpasso 5v	150.156	
Camiones		\$a
619 N1	904.535	
619 T1	934.956	
7 N	1.077.720	
7 T	1.102.916	
873 N	557.660	
673 T	567.171	
FORD (2)		\$a
Falcon taxi 2.3	213.434	
Falcon Std. 2.3	218.306	
Falcon Std. 3.0	231.596	
Falcon DL c/d.h. 3.0	263.661	
Falcon Ghia 3.6 c/a.a.	319.628	
Falcon Ghia SP 3.6 c/a.a.	321.282	
F. Rural DL 3.6 4v c/a.a.	335.944	
F. Rural Std 2.3 4v	241.946	
F. Rural Std 3.0 6c	259.101	
Taurus L	230.341	
Taurus Ghia c/a.a.	321.043	

Taurus Ghia 5 v. c/a.a.	345.945	
Taurus GT c/a.a.	313.943	
Taurus GT SP 5 v. c/a.a.	350.289	
Pick up		
Ranchero Std. 2.3	181.062	
Ranchero Std. 3.0	195.446	
Ranchero de lujo 3.6	212.444	
"F" 100 Std. 6 c.	244.570	
"F" 100 V8 de lujo	271.829	
"F" 100 diesel de lujo	305.666	
"F" 150 Std. V8	266.244	
Camiones		
"F" 250 naf. c/c	334.719	
"F" 250 diesel c/c	400.394	
"F" 350 naf. s/c	315.933	
"F" 350 diesel s/c	381.609	
"F" 600 haltero	437.228	
"F" 600 diesel 305	513.589	
"F" 600 dias L 354	555.610	
"F" 700 diesel	615.374	
LE.S.		\$a
3 CV	92.384	
Carga	97.443	
MAZDA		\$a
RX 7 FA 2S	424.000	
829 L Hardtop Std. 2.0 LA4MSCP	340.000	
829 L Hardtop Std. 2.0 LA4MSGT	375.000	
829 L Rural 2.0 LA 4MV	412.000	
323 J Puertitas 1.3 BA 98	201.000	
626 Coupé 1.8 GA 69	280.000	
Comerciales		
B 1600 Pick-up c/PE 2V7 Fc/P.C.	169.400	
E 1600 Panel Van BA2N 8V 5G	153.000	
E 1600 COACH BA2N 8V 5H2	171.000	
E 2200 Pick-Up Frontal BA 259	225.000	
MERCEDES BENZ		
L 608D/350F	452.000	
L 608D/410F	462.000	
L 1114/42F	695.000	
L 1114/48F	703.000	
LA 1114/42F	859.000	
L 1514/42F	726.000	
LK 1614/42F	812.000	
L 1514/48F	734.000	
LS 1518/36F	829.000	
L 1618/42F	799.000	
L 1518/48F	809.000	
L 1521/42F	1.123.000	
L 1521/48F	1.129.000	
L 1521/51F	1.132.000	
LD 608/410D	402.000	
LO 608/4100A	452.000	
LO 1114/48	621.000	
LO 1114/48B	651.000	
LO 1114/51B	657.000	
OC 1214/48D	643.000	
OC 1214/51B	651.000	
OF 1214/45B	740.000	
O 170/555E	868.000	
O 170/410E	840.000	
OH 1419E	1.106.000	
Unimog		
406G	899.000	
416C	886.000	

OM314/606D	118.000	
OM1314/Est.	116.000	
OM352/912	147.000	
OM352/912D	193.000	
OM352/937	180.000	
OM352/937D	227.000	
OM352/939	180.000	
OM352/943	180.000	
OM352/918	161.000	
OM352/997	147.000	
OM355/915	298.000	
OM352 Cose.	134.000	
OM352 Indu.	134.000	
PEUGEOT (3)		\$a
505 GR 5v.	257.246	
505 SR 5v.	220.167	
504 GR2 5v.	229.099	
504 Pick-up Naf. 5v.	188.118	
504 Pic-up Dias. 5v.	277.029	
RENAULT (4)		\$a
Renault 4 S	142.499	
Renault 6 GTL	172.573	
Renault 12 TL	213.723	
R12 TS Break	261.335	
R16 GTL	282.858	
R16 TX	344.047	
R16 GTX	396.038	
R16 GTX Break	425.373	
Renault Fuego	457.119	
SAAB SCANIA		\$a
T-112 H 4x2 N42 CT 19	826.000	
T-112 H 4x2 S42 CT 19	991.000	
T-112 H 4x2 N54 CT 19	937.000	
T-112 H 4x2 S54 CT 19	1.002.000	
T-112 H 6x2 S34 CT 19	1.157.000	
T-112 E 6x4 S42 CT 19	1.392.000	
R-112 HS 38 4x2 GR 19	1.100.000	
R-112 HS 46 4x2 CR 19	1.100.000	
R-112 HS 54 6x2 CR 19	1.194.000	
Chasis para Omnibus		
K 112	1.122.000	
TOYOTA		\$a
Celica L/B 100 ST	287.000	
Celica L/B 2000 GT	320.000	
Celica XT Coupe	360.000	
Pic-up HI LUX 2000 Haltero	215.000	
Pick-up STOUT	203.000	
Life ACE Furgón 2000	170.000	
VOLKSWAGEN (5)		\$a
VW 1500	150.887	
VW M 1.8	172.721	
VW M 1.8 Aut.	188.898	
VW M 1.8 Rural	186.849	
VW M 1.8 Rural Aut.	203.191	
VW Cacar GL	194.535	
Utilitarios		
Kombi VW	190.418	
Furgón VW	168.826	
Pick-up	144.067	

Nota: (1) Fiat, precios al 18 de este mes sin opcionales; (2) Ford, precios al 16 de este mes; (3) Peugeot, precios al 18 de este mes; (4) Renault, precios al 17 de este mes; (5) Volkswagen, precios el 16 de este mes sin flotes ni opcionales.

為替レト 1927.20 / US\$ 100

(注) 現在、当支部職員、専門家が愛用している車種としては、日本車以外。

これは RENAULT R18 GTX (免税価格 US\$ 9,000), FALCON

DE LUJO (免税価格 US\$ 7,500), PEUGEOT 505 SR II (免税価格

US\$ 7,900) などである。日本車(輸入)では DATSUN フェルバード 1800 など。

6. 自動車保険

ブエノスアイレス州では、現在自動車損害賠償責任保険 (Responsabilidad Civil Hacia Tercero, 以下R. C. と称す) は強制保険です。違反した場合は罰金となります。車をお持ちの方はかならずこの保険にだけは加入しておく必要があります。

自動車保険の種類

1) R. C. (Responsabilidad Civil Hacia Tercero)

ー自動車損害賠償責任保険 (自賠責)

これは全ての自動車保険のベースとなるので、第三者 (己の自動車に同乗の第三者を含む) 及び第三者の所有物に対する損害賠償責任をカバーするものです。これには、運転者である本人及びその家族、親族 (血縁三代まで) は第三者と見なされませんので、もし傷害及び死亡事故があった場合でもこの保険の対象とはなりません。

アルゼンチンは、自賠責は無制限賠償になっておりますので、この保険に加入していれば、第三者への損害賠償に対しては、安心して運転していただけます。

(注) 運転者本人、家族、親族はAccidente Personal

(傷害保険) またはVida (生命保険) にてカバーされることになっています。(自動車保険とは別に加入の必要があります)

2) Incendio (自動車の火災)

以下の保険は全て車輛に対する保険です。

火災危険にはParcial (分損) とTotal (全損) の二通りあり、ご本人の車が火災に遭遇した場合の保険で、実際にはParcial またはTotal の一つのみを加入されても、両方一諸に加入されても保険料には大きな差はありませんので、一般にParcial, Total 両方を加入されるのが普通です。

3) Robo O Hurto (自動車の盗難)

これも2)の火災と同様にParcial (分損)とTotal (全損)の二通りがあり、盗難危険に備えるものですが、両方加入になるのが一般的です。ただし、この保険は車輛が盗難にあった場合(全損)を除いて、タイヤの飾りホイール、ワイパー、ミラー、車の飾り記章、工具類等は保険の対象外となっており、これ等個々の盗難は保険ではカバーされません。

ラジオ、カーステレオ、アンテナ、空調設備等はアクセサリとして付保時にご希望があればこの保険でカバーできます。

4) Accidente (車輛事故)

これも2)3)と同様Parcial (分損)とTotal (全損)の二通りがあります。この場合全損とは損害が車の価値の80%を超えるものを云います。このTotal (全損)は単独で付保できますが、一方Parcial (分損)をカバーするためには、次に述べますTodo Riesgo (オールリスク)保険によります。

5) Todo Riesgo (オールリスク)

これはいままでの1)2)3)4)を全て一括してカバーする保険です。これはCon Franquicia (免責付)とSin Franquicia (免責なし)の二通りに分れます。車輛がParcial (分損)の損害を受けた場合、その修理代の一部または全額を保険でカバーしたい場合の方式です。

Con Franquicia とは、被保険者が修理代のうちその10% (1割) または同型の新車価額の1%常に高い方を負担し残りの修理代を保険会社が負担するものです。例えば免責全額が500万ペソ (同型新車価額が5億ペソの場合) で修理代金が300万ペソの場合は当該修理代金は全額被保険者負担となります。修理代金が700万ペソの場合は500万ペソを被保険者、200万ペソを保険会社が負担となります。また、修理代金が2億ペソになりますと10%の2千万ペソを被保険者、1億8千万ペソを保険会社が負担することになります。つまり少損害は被保険者の自己

負担で大損害は大半が保険でカバーされる仕組みです。
この保険にご加入になる為には、付保前に車輛が健全な状態にあることが、基本条件となります。(一般に保険会社は年式の制限も行っております。)

6) Clausula De Ajuste Automático

(エスカレーション条項)

現在のように高度インフレーションの中にあつては、付保時と損害発生時とでは車輛及びアクセサリー類の価値が大きく異ってきますので、付保額の目減りを防ぎ常に保険金額をインフレにHedseした形にしておく必要があります。この為、この条件をオプションとして付することができます。

7) Huelga Y/O Tumulto (ストライキ暴動)

これもオプションとして被保険者が希望する場合に付保できます。これには付保と同時に、この危険をカバーする In ediato と付保後 30 日を経てこの危険がカバーされる A 30 Dias との二通りがあります。

8) Granizo, Inundación Y Terremoto

(ひょう, 洪水, 地震)

これ6)7)と同様オプションとしての保険ですが、この場合は5)のTodo Riesgo (オールリスク)の場合のみ付保可能です。

付保の仕方

種々の方式ありますが、自賠責 (R. C.) が常に基本ですからこれ無しでは他の保険を付保することはできません。(特に並国の場合、賠償責任問題には注意を要します) 実際的には種々ある方式の中で次のような4つの形が代表的で、一般的と云えます。

- I) R. C. のみ (自己の車輛損害は自己負担)
- II) R. C. I. R. D T. (自賠責, 火災, 盗難, 全損)
- III) Todo Riesgo Con Franquicia
- IV) Todo Riesgo Sin Franquicia

II) III) IV) には、オプションとして前述のラジオ等のアクセサリ及び6) 7) を加えることができます。また、III) IV) の場合には更に8) オプションとして加えることができます。

付保に際しては、車の年代、車の使用頻度、経済上の問題等を考慮し決定して下さい。

事故が発生した場合の処置

車を運転される際には法規を遵守していただく他に

- 1) 当該の運転免許書
- 2) Cedula Verde (車の認識証明書—緑色の小さな紙) -- (Cedula De Identificacion Del Automotor)
- 3) 最後の車の税金支払い領収書 (Recibo De Pago De Impuesto A La Radicacion De Vehiculos

の3点だけはかならず車内に所持して下さい。

さらに加入されている保険会社名及び保険証券 (Poliza) の番号を、ひかえた物も所持いただければ万全です。

万一事故が発生した場合は、基本的に保険会社が事故処理を被保険者に代って行いますので、相手側の言動、威嚇行為にまどわされることなく簡単に金品を渡したり相手が強要するような書類にはサインしないことです。そして必要な警察への事故届の他、何よりもまず保険会社へ事故の通知を行って下さい (遅くとも72時間以内)、保険会社への通知が規定時間以内にされれば後は一切保険会社が事故処理をいたします。

事故の際、相手方に求めるデータは

- A) Patente De Vehiclo (車のナンバー)
- B) Marca (車種, 型式, 年式)
- C) Nombre De Conductor (運転者名)
- D) No. De Registro (運転免許書番号)
- E) Domicilio De Conductor (運転者の住所, 電話番号)
- F) Compania De Seguro Y No. De Poliza (相手方の保険会社名及び保険証券番号)

の6点が基本です。これ等のデータは相手方の Cedula Verde, Registro から調べることができます。(住所は現住所を聞くこと)

あとがき

事故を起さない為には常時、車の整備、特にブレーキ、その他の点検が基本です。常に車をベストの状態に維持して、いざと云う時に備えて下さい。

また、交通法規を遵守の上、無理な運転を避けて事故の起らないよう余裕のある運転を務めていただき、まずは事故を起さないよう万全を期して下さい。

万一事故の起きた場合は、遅滞なく保険会社への届け出を72時間以内に行なって下さい。

この小冊子が皆様のお役に立てればと考えています。

La Agricola 社代理店 Toshin Service S.R.L. は顧客の皆様のお役に立つ保険代理店として万全のサービスを目指して努力しております。

付保の際、事故発生の際、皆様の信頼できる良き相談先としてお手軽に何事でも御用命の程お願い申し上げます。

御多忙な顧客の皆様のために事故処理の一切の手続きを代行させていただいておりますので、ご安心してお電話下さい。

VII. 住宅事情と使用人

1. 一般住宅事情

アルゼンティンでは人口の都市集中が非常に激しく、特に首都ブエノス・アイレスへの集中は異常であり、これが原因となって住宅事情の悪さに拍車をかけている。

一応通勤圏内の住宅候補地区としては、地下鉄沿線・市内バス路線内あるいは電車による通勤1時間以内の場所に限定されているが、日本からの駐在員の多くはベルグラノーR地区に多く住んでいる。これは同地区に日本人学校があり、通学等に便利が良いことも影響していると思われる。以上の地区で住宅を探す場合にはややきびしい状況下にあるが、ある程度の時間の余裕をみれば希望する物件に近いものがみつかる。

2. 貸家(アパート)

ブエノス・アイレス市内で一軒屋を探すことは非常に難しく、アパートに入るのが普通である。家具付と家具なしに大別され、家具付の場合はすぐ生活できる程度の鍋・釜・食器類などまでの品物が備わっているのと、ベット・ソファ・テーブル程度のみの場合とある。また家具なしの場合は、まさに部屋のみで何から何まで全て入居者が備えなければならぬので短期赴任者には不便である。これらのアパートは市内住宅地区に高層アパート(10~20階)として林立しており、ノルテバレルモや日本人駐在員が多いベルグラノーR地区等の家賃は家具付2LDKの普通のアパートでUS\$700~1,000程度、3LDKになると家具調度品の良否・家の新旧・交通の便・環境の良否等にもよるが\$2,000をこすアパートもある。

間取りは居間と食堂が一緒になった広い部屋と隣りが台所、寝室が2～3室、トイレとバス、それと女中部屋(専用のシャワーとトイレ付き)がついているのが普通です。ほとんどがセントラルヒーティングになっていますので、冬の暖房と毎日のお湯の心配はいりませんので助かります。家具無しのアパートを借りますとまさに部屋のみで、入居者は何から何まで一切を揃えなくてはならないので大変です。その点“家具付”の場合ですとベッド・ソファー・テーブルだけのものから、じゅうたんも敷いてあり額もかかっておりさらに鍋・釜・食器類まで揃えてあり、直ぐに生活できるようになっているアパートもあり大変便利です。家具・電気製品等は新しいものは非常に高く、家具もいちいち買い揃えるのも大変ですので、一時滞在者は普通は家具付を借ります。

どのアパートにもポルテロと呼ばれる管理人がいます。朝早くから夜まで建物の内・外の公共の場所の掃除から、ボイラーたき、来訪者の取り次ぎ、その他アパートの管理に関するいろいろな事をやってくれます。

なお電圧は220ボルト、50サイクルです。部屋のコンセントは、古いタイプは差し込む穴が2つで新しいのは3つですが、この調整をするアダプターも売っています。家庭用燃料の主なものは都市ガスですが、市の中心から離れた所の一部そして郊外の家庭燃料は全てプロパンガスになります。

3. アパートの探し方と必要資金

貸家は一般にアパートが多く、一戸建のものは家賃も高く探すのが困難なため、利用者はほとんどいない。探す場合は不動産屋に頼むのが一般的で、新聞広告(これも不動産屋の介入が多い)か個人的な知り合いの紹介による場合もある。契約期間は1年～2年のドル払いが普通である

入居当初必要とする金額は家賃の約5ヵ月分位であり、その内訳は2～3ヵ月分の敷金(調度品・家具・什器により異なる)、1ヵ月分の前家賃と契約総額(1年半の場合は18ヵ月分の家賃合計額)の5%～6%の不動産手数料と契約書作成料・印紙代で1%が普通である。

<契約時の注意事項>

同じアパートでも部屋により家主が異なり、家賃が違う事もある。あまり古い建物は故障も多い。管理人のよしあしも住み心地にひびく。最上階の部屋は夏暑く冬寒く、また1階は湿気が多い。入居したら玄関・勝手口等の鍵は、安全のため新しいのに変えること、入居中の特に帰国間近の月の、電気代・ガス代等の支払済領収書は、清算に必要なのでとっておくこと。

4. 電力事情

電力事情は工業用・家庭用共に年毎に良好になりつつあるが時々停電することがある。アルゼンティンの電力は、国営の電力公団（AGUA Y ENERGIA ELECTRICA）と半官半民の SEGUBA 社及び ITALO 社が供給している。（その他、州によっては組合組織あるいは私営の電力会社等がある）国営は主として水力・原子力発電を扱っており、セグバ、イタロ両社は火力発電を扱っている。近年ダム建設が盛んに行なわれ、大規模なものはチョコンドムをはじめ、サルトグラнде、コルドバ、パイアブランカのダムがあり、アルトパラナ河のコルプスにはアルゼンティン、パラグアイ共同のダム建設計画が実施段階に入っている。ミッシェネス州では一部の電力をパラグアイよりの買電によっている。

5. 水道事情

ブエノス・アイレス市にはラプラタ河の水を導入した貯水池（濾過消毒）があり、これから市内の主要貯水池へ水を送り家庭用・工業用の水を取っており、水道事情は極めて良好でいわゆる水不足はない。大ブエノス・アイレス圏の主要都市の水道事情も良好であり、ほとんど市営である。水道料は不動産税によってまかなわれているので料金徴収はない。しかし、近年市内の一部ではメーターを取りつけ料金を徴収し始めている所もある。水質は良好であるが、慣れない間や旅行中に生水を飲むことはなるべくさけた方がよい。

6. 家庭用燃料

市内の家庭用燃料の主なものは都市ガスであり、ほとんどの家庭に行きわたっている。しかし市内中心から離れるにつれてプロパンガスの使用が多くなり、郊外の家庭用燃料は全てプロパンガスである。

7. 使用人

家事使用人を雇う場合は知人の紹介によるか、又は紹介機関としての Agencia de Colocacion para servicio Domestico (所在 Salvador Hogar Tel 781-4258) に依頼する方法がある。

使用人の多くはアルゼンティンの北部地方の貧しい農村の出身者やボリヴィア、パラグアイ、チリなどからの出稼ぎ者が多い。これらの人々は肉体労働に耐えよく働き、人も良いが反面珍しい品物などをみると盗癖がでる者もあるので決して心を許すことなく十分注意を払うことが必要である。

住み込みの場合は経験、信用などによって異なるが月800～960ペソで経験の浅い場合は540ペソ位。但し土曜日の午後と日曜、祭日は完全に休みである。

通いの場合は1カ月800ペソの外に交通費の実費を支給する。週2日間の通いの場合は、1日80ペソ計算で月640ペソ交通費が大体の相場である。(1984年1月現在)

Ⅷ. 家具・什器・電気製品

1. 家具・什器等

(1) 家具、什器及び寝具類は当地で容易に調達することはできるが、非常に高価である。但し日本食を主とする場合の和食器や什器類は携行することが必要である。家庭用電気製品は高価であるためできるだけ携行した方がよいが電圧の関係もあり(220ボルト、50サイクル、交流)南米向輸出品として作ったものを携行すると便利である。

なお、電気炊飯器、すき焼、水たぎ用鍋等は当地では入手できないので携行する必要がある。

(2.) 家具・什器等は入居するアパートの状況によって購入品も異なるが、家具・什器ともにクラシックで高級品という感じのものが多く、ソファー3点セットが10,000ペソ以上が普通である。家具付のアパートの場合は家主の好みにより異なるが、最少限の生活ができる程度から、何も購入しなくてもすむ程度に整っている場合もある。雑貨品は住いの近くのスーパー、雑貨店等でほとんどのものを購入できる。

これらの店の営業時間は午前8時30分～午後1時、午後4時～8時が週日で、土曜日は午前中のみ営業であるが夕方まで営業しているところもある。(83年12月)

エ. 電気製品

現在、輸入規制が緩やかになったため、電気製品の市場への出廻りは多く品数も豊富でバラエティに富んでいる。値段は一般的に高く、国産品は粗末なものが多いため、ステレオ・ラジオ・カメラ・電卓等は高くても輸入品を購入する傾向にある。電気製品の販売店は居住地区に必ず1～2軒はあり、部品屋・修理店も多いが、冷蔵庫・洗濯機等の大型機械は直接メーカーの代理店へ修理を依頼することが多い。

家庭用電気としては、大型機械には三相380V、50Hz、その他小型のものには单相220V、50Hzが一般的である。

カラーテレビは1980年の放映を目標に現在1日30分の試験放映中(5月1日から)であるが、まだ一般家庭には行きわたっていない。カラーTV受像機は米、2,000以上しており、庶民の手にはまだ程遠い感じがする。(83年12月)

VIII. 食生活・食料品

1. 食生活

ブエノス・アイレス市内では各区分ごとに必ず肉屋・パン屋・野菜屋・果実屋などの店があり、住宅密集地帯にも5区分ごとにスーパーマーケットや市設の市場が設けられていますので、日常生活用品を購入できます。ブラジルの様に生鮮食品を扱った、フェイラ（移動露店市）はありません。肉類（特に牛肉）を始め、野菜・果実などの食料品は豊富で安く（最近インフレの為以前ほどではないが、日本と比較するとまだ安い）、家庭の主婦にとっては助かります。

一方味噌・醤油・米・豆腐・梅干・化学調味料・時季の野菜ほかの日本食品は亜国拓殖農業組合（略称アタク）やニッパル花卉組合の販売部や輸入日本食品の直売所で購入できます。また毎週日

本食を各アパートへ販売に来る業者も居ますので、これも合わせて利用できます。アルゼンチンの漁業資源は豊富なため、エビ・タイ・イカ・いわし・まぐろ等の季節の魚も比較的安く容易に入手できます。ブエノスには日本食レストランも何軒かあります。

八百屋や果実店で買物をする時、買主は品物の良否や大小についての注文は構いませんが、直接品物を手取ることは出来ませんのでご注意ください。肉類はキロ単位で塊で、鶏肉は1羽単位で買います。

上記の様に日本食品が手に入りますので日本人の家庭では、米・肉又は魚と野菜を日本風に料理したものが毎日の食生活の中心になるようです。

日本と違って外国では家族単位の交際が普通で、自宅へお客を食事に招待してもてなす機会が少なくありません。その様な時のために、日本料理を始めいくつかの得意のメニューを用意しておかれると役に立ちます。

2. 食料品

当地は和洋食糧品は極めて豊富であり、ア国人は一般にパン、肉を主体とした洋食であるが、米（長質）肉類（牛・豚・鶏）、鮮魚類（鱈、平目、ブリ、マクロ、タコ、イカ……）、野菜類（茄子、胡瓜、牛蒡、白菜、大根、里芋、ネギ、山芋……）その他（味噌、醤油、豆腐、竹輪、蒲鉾、コンニャク……）等の和食材料が比較的容易に入手できるので、常時和食することができ

なお、醤油は当國産は日本産に比べ味が劣るので携行した方がよい。又、和食でも鰹節、出し昆布、海苔、茶、梅茸、麵類（ソバ、うどん、ソメメン、ラーメン）、漬物（瓜の粕漬、福神漬）、佃煮、日本酒、その他特産調味料（ワサビ、七味唐辛子、味噌、出しの菜……）等は当地では入手が不可能であるから、携行することが望ましい。

X. 服装と衣料品

1. 気候と服装

アルゼンチンは南部に長いいため地域によって気候もずいぶん差がありますが、ここでは中部のブエノス・アイレスを中心に述べてみます。年間を通して一般に温暖で（ブエノスの年間平均気温は17℃）、四季の区別もわりあいはっきりしています。南半球に位置する為、日本と季節は逆になります。6～8月は冬（雨期にも当る）、12～3月までは夏でラプラタ河から上がってくる湿気のため、じっとりする日もありますが夜には気温も下がります。

服装の準備は日本で年間を通して使用している物が、そのまま役に立ちます。ブエノスでも7・8月特に夜は、非常に寒くコートやオーバ等の防寒服が絶対必要です。

日常使用の普段着や下着類等の衣料品の買物は、市内の区画内にある衣料品店で充分用足しできます。高級品は主に市の中心街（セントロ）に集中していますが、最近では各地区でも高級品が出回っています。

アルゼンチンの人々はファッションには敏感で、ヨーロッパで流行のものは直ぐブエノス・アイレスの街々で見受けられます。従って流行おくれの衣服や靴を着用していると、何となく野暮ったく

見えるようです。男性・女性ともに洋服類（パーティー用のドレスも然り）は日本で新調してたくさん持って行くのではなく、流行・デザイン等を考え現地で調達されるとよろしいでしょう。

アルゼンチンの衣料品は一般に、種類は豊富ですが品質が日本のと比べるとあまりよくなく、値段も高めです（特に化学繊維）。下着類や混紡のワイシャツ等は、日本から充分に持込んで下さい。皮製品は比較的値段も安く種類も豊富に揃っています。各種の皮のハンドバッグやコートなどは、日本よりはかなり安く手に入ります。

ヨーロッパの影響を強く受けているためアルゼンチンでは、日常の服装・身だしなみにはうるさいほうです。男性の通勤スタイルは背広とネクタイで、一流のホテル・レストランでも要求されます。フォーマルな場では男性は普通ダークスーツで、女性はドレスリーなものやパーティー等ではイブニングドレスも着用します。日本の女性の場合、和服でも役に立ちます。むこうの人は昼間と夜とでワイシャツや背広を変えたりしますし、ベルトや靴にも、また頭髪や手の爪にも気を配っていますので、アルゼンチン滞在中はこれらの点にも気をつけましょう。

<ブエノス・アイレスの年間気温>

(℃)

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
温度	最高	29	29	26	22	18	14	14	15	17	21	24	28
	最低	17	17	15	12	8	5	6	6	8	10	13	16
℃	平均	23	23	21	17	13	10	10	11	13	16	19	22

2. 衣料品

(1) 礼服としての燕尾服、モーニングは必要ない。万
 の場合は礼服専売店専門があるので、一応急場の間
 に合う。通常の食事やレクリエーションの場合はワーク・ス
 ツで間に合う。

婦人の訪問着はかなり利用度も高いので持参するこ
 とが望ましい。又、当地においては、コクテル、夜会に
 はロングドレスが使用されるので、絹地婦人服は当地で
 は非常に高価であるから携行することが必要である。

当地は、一般的に身嗜みが比較的厳格であり、衣服は
 全般に色調の落ちついたものが好ましい。

(2) 当地には、高級洋服店や洋裁店が沢山あり、又、布
 地も豊富にあるので、男女共普段着は随時調達できる
 が、上質生地は英国から適宜輸入している。

当地は、冬季は相当寒くなり（内地の3月か、2月
 頃の気候と思えばよい）、時々雨も降るので、オーバ
 ー、レインコート及び傘は携行した方がよい。

婦人の名皮コート類は種類も多く、比較的値段も安
 い。

(3) 男用ワイシャツ、婦人用ブラウス及び下着類は品質は立共一般に粗雑であり、しかも非常に高価（特にナイロン、純綿製品は高価である）であるから男女共でさるだけ沢山携行する必要がある。

(4) その他、靴は良質のものがあるので特に携行するに及ばないが、婦人靴はオーダーを除き、既製品の場合にはスズ、スズ5のサイズは入手困難である。

XI. 医療、保健、衛生事情

1. 一般事情

当地は、四季に恵まれているが、年間を通じて濕気が多く、又、気候の変化が激しいので風邪をひき易い、特に5月～9月の冬季は湿度が95%を超えることもしばしばで、一度発病すると仲々治り難く、特に神経痛、リウマチ、喘息、脚気等の持病のある者は健康には充分留意することが肝要である。

衛生状態は比較的良好であり、特別の疫病はないが、年によっては、流行性感冒や小児マヒ等の病気が流行することがある。

医療機関は欧州系の有名な病院が多く、医療施設も完備しており、医療品も一応国産（ドイツ系）で間に合うが、特殊な薬や栄養剤、常備薬等は携行した方がよい。又、日系、医療機関としては、内科、小児科、歯科及び産婦人科等の日系二世医師による診療所がある。

2. 医療施設・病院

(1) アルゼンチンでは完全な医薬分業制で、診療と投薬部門が分れています。まず病院で診療してもらい、医師の処方箋を薬局に持って行き薬を買います。アルゼンチンの医療衛生設備は完備されており、国・公・私立の病院の内民間の一流病院は特に施設も整っています。診療には予約が必要です。日本のように一個所で総合的な診療はしてくれる所は少なく、レントゲン・血液・心電図ほか各々の検査所に行きみてもらい、その結果をもって再診を受けることとなりますので時間と手間がかかります。

頭痛・腹痛などのちょっとした病気や怪我の場合には、近所の薬局（ファルマシア FARMACIA と呼ぶ）で薬を買ったり、資格のある薬局員にその場で注射を打ってもらう事もできます。このファルマシアは当番制で、各地区に必ず1軒は土・日曜日でも夜遅くまで営業しています。店の名が新聞に掲載されますので、予め調べておくに役立ちます。

ブエノス・アイレスにも内科・小児科・外科・歯科ほかの日系のお医者さんがいますので安心です。場所・電話番号などは現地の邦字新聞の広告欄に載っています。また「在ア日本人会」の共済会診療所もよく利用されています。

在ア日本人会

アベニータ・インデペンデンシア732

AV. INDEPENDENCIA 732

電話 26-8182/26-8149

かかった医者の判断で安静或いは手術が必要な場合は、患者はホテルに似た「サナトリウム」と呼ばれる所に送られます。ここでは患者に必要なすべての設備を備えており、看護婦も居ますが専門の医者は居りません。ですから今までみてもらっていた医者に、往診してもらうこととなります。このサナトリウムは、特に民間の医者に多く利用されています。

(2) 病院は国・公・私立に分かれており、ヨーロッパの医学がそのまま入ってきている関係から施設設備ともにヨーロッパ方式である。一般に多くの病院は企業別共済会形式の下に会員制の患者を扱うとともに一般外来患者も随時取扱うシステムを併用している。

BCG・ジフテリア・種痘・小児マヒ等の予防接種は法律で義務づけられているが、伝染病はほとんどなく結核の罹病率・性病・癩病患者はラテン・アメリカではもっとも低い。

急病等の場合、ブエノス・アイレス市では救急病院 (ATENCION MEDICA DE URGENCIA) に電話すれば救急車がかけつけてくれる。電話番号は 107 又は 34-4001。各州の場合もそれぞれ救急病院があるので、予め調べておくが良い。輸血の必要がある場合は血液銀行 (BANCO DE SANGRE) に電話すればよい。電話番号 26-4777。寄視

庁に対する緊急電話は 101, 消防は 38-2222, 又は 37-2222。参考までに各地区警察署は地区番号(例えば 31-, 221-)に下四桁番号 3333 とダイヤルすればよい。消防署は下四桁番号が 2222 である。

また最寄の医者あるいはその地区の救急車会社に電話すれば同じく救急車がかけつけ適切な病院に連れていってくれる。病院では直ちに応急処置を施し、専門医に連絡をとることになっている。

(3)

ブエノスアイレス市内の主要医療機関としては、社会福祉省管理下の14の国立病院、12の市立病院、民間のドイツ病院、イタリア病院、イスラエル病院などがあり、民間一流病院の施設はよく整っている。日本人駐在員はドイツ病院へかかる人が多い。

3. 産

最初婦人科医の診療を受け、紹介された病院に入院して出産します。期間は普通は3~4日ですが、希望すればもう少し延長もできます。ブエノスには日系の産婦人科医も何人も居ります。

なお生まれた子供は自動的に、アルゼンチンの国籍を取得します。市役所に出生届けをしますが、その時アルゼンチン名もつけなければなりません。日本国籍を保有する為には、出生後14日以内に日本大使館に出生届を出す必要があります(この場合、子供は二重国籍になります)。

4. 健康保険と医療費

医療費は高額です。国立・公立の病院もありことは無料ですが、設備面や診療面に問題があるようです。従って通常施設の完備した民間の病院を利用する訳ですが、非常に高くなります。

日本のように組合ベースの全国的な組織の保険制度はありません。保険加入の場合は個人または

会社単位で健康保険制度を扱っている所へ申し込みます。診療の時はその保険を取扱っている医師の所へ行く訳ですが、その数も少なく不便を感じる事もあります。日本進出企業ほとんどの家族は、オマハ(OMAHA)と言う保険制度に加入しており、この保険料を本人と会社が各々に負担しています。

5. 健康管理

(1) ブエノスアイレスは四季があり、健康的な気候の土地であるが、低地であり、大河の側にあるため1年を通じ湿度は非常に高い。また、気温の変化が激しい。したがって、神経痛、リウマチ、喘息、脚気などの持病のある人は再発の可能性が大きい。

また、風邪をひきやすいので注意が必要である。現地の人は子供のうちから天気予報に気をつけ、1日に何回も着替えをするか、ジャケットや外套を持って歩く。

大都市でいろいろ便利なようでも、一口にいい表わせないストレスも多く、食事にも肉に偏りがちとなるので身体をこわすケースが少なくない。したがって、偏食をさけ、つとめて運動と休養をとるようにしなければならない。

特に悪性の病気はないが、風土病としてはシャガス病（寄生虫病の一種）がある。

(2)

個人の健康管理上特別に注意を要する事項は、ブエノス・アイレス市で生活する限りあまりないが、アパートと事務所の往復が多く、交通も比較的近く便利な所に住む関係もあり、徒歩・ランニング等軽い運動をするよう心掛け、年1回のレントゲン検査、簡単な健康診断等を行なうように注意する必要がある。また、日本の気候に比べ

1日中の寒暖の差が15℃以上もあることはしばしばであるため風邪には十分注意を要する。

(3)

赴任当時は環境の変化、生活慣習の違い、言葉の問題等による身心の疲労により体調をこわしがちなのでご注意下さい。まず早く現地の生活に慣れることです。気候は概して湿度が高いので神経痛・ぜん息気味の方は要注意、また1日中の寒暖の差もはげしいので風邪を引かないように気をつけましょう。その他栄養、運動不足にも気をつけ、定期的に検診を受けるなどしてくれぐれも健康にはご留意下さい。

6. 医薬品

高い生活水準に比例し医薬品工場も多く研究も盛んである。また、医薬品は無税で輸入されている。ヨーロッパで医薬分業がとられているように当国でも医者処方箋をもって薬局に買いに行くシステムがとられているが、特に危険性のない薬については直接薬局で販売してくれる。

薬局はブエノス・アイレス市及び各都市とも土曜の午後・日曜・祭日は当番制で、全店の半分は開店することになっており、その当番店名はその前日の主な新聞に掲載される。夜間営業の場合（24時まで）も当番制で、全店の半分が開店している。

7. 衛生

ブエノスアイレス市のみならず、主要都市および周辺の衛生状態はよい。上下水道は完備しているし、ゴミの収集状況もよい。

都市には公園、広場、道路のグリーンベルトが多く、環境衛生もよい。

飲料水はラプラタ川の泥水を浄水しているもので、微粒状の泥が少しずつまじっているので、残留はないが長期の飲料には適しないものとみえ、ふつうの家庭ではミネラルウォーターまたはソーダ水を買って飲んでいる。

8. 理容・美容院

理容院は住宅地区やオフィス街のビルの中などに多くあり、1回の調髪料は\$_a50とチップ\$_a10計\$_a60前後が普通で洗髪料は40\$位である。理容院によっては時間による予約制を行っているところもある。アルゼンティンの女性は外出前には必ず美容院へ行く習慣があり、美容院はどこの街にもあり眠っている。料金はカット、洗髪セットなどで約10ドルで手のマニキュア料は約100\$_aである。（84年1月）

XII. 教育事情

1. 渡航する前に

小・中学生をお持ちの方は海外赴任が決まりましたら、早い機会に下記にご連絡下さい。

<海外子女教育振興財団>

本部：東京都千代田区永田町 2-14-2

山王グラントビル209号(〒100)

電話 (03)580-2521

関西分室：大阪市都島区都島本通 1-7-19

都島楠風ビル 501号(〒534)

電話 (06)924-0637

上記財団では……

①学年の途中で渡航されるお子様が、現地ですぐ使用する教科書を無償で配布しています。渡航した次の学年から使用する教科書は、日本人学校もしくは学校のない地区では在亜の日本大使館を

経由して無償で配布されます。

②日本人学校のない地域に行かれるお子様や父兄のために、文部省の補助の下で通信教育を実施しています。

③渡航前に専門家による教育相談を無償で行っております(予約制)。

④「海外子女教育」という月刊誌を発行しています。この本には海外日本人学校ニュース・教育相談・帰国後の受け入れ関係、その他有用な情報が豊富に盛り込まれています。有償ですがご希望の方は財団にお申し込み下さい。

2. 日本人学校

ブエノス・アイレスで生活の子弟は、現地の日本人学校において日本と同じ教育が受けられますので、心配には及びません。

ブエノス・アイレス日本人学校

ESCUELA JAPONESA en B. A.

住所：La Pampa 3520

Buenos Aires

電話：783-1919

①この日本人学校は日本文化教育協会により設置・運営されています。日本政府より派遣された先生を始め現地採用の先生もまじえて、日本の学習指導要項に基づいた授業が行われています。但し、義務教育法令の小・中学生のみが対象となり

ます。

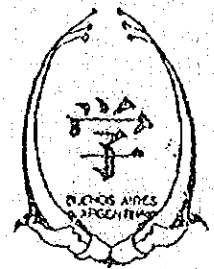
②日本の学校と同じカリキュラムで授業が進められていますので、帰国後も同年度の学年に編入学できます。

③教科書は無償で配布されますが、それ以外の入学金・月謝・給食費・スクールバス代などの費用は父兄負担となります(詳細は⇒海外子女教育振興財団へ)。

④学校概要……約千坪の敷地に、校舎・特別教室・プール・大小運動場他の学校としての施設が完備されています。毎月転出入がありますが、生徒数は小・中学校両方合わせていたい120名前後です。1年は3学期に分かれており、4月・8月・2月に始まり、各学期の後には休暇があります。(詳細は、別添参照)

(校章)

⑤通学はスクールバスを利用します。小中学校とも、給食が出ます。スペイン語の授業は、必須となっています。



⑥日本人学校の運営

本校は、在亜日本文化教育協会のもとで設立され、日本政府（外務省・文部省）や、海外子女教育振興財団の指導援助のもとに運営されています。

本校設置の意義は、海外在住者の子弟の中で、学齡相当者が本校に在学すれば、帰国しても相当学年に転入することができ、海外勤務中の子弟の教育的ブランクをなくし更に当地の実状に則した教育を受けることができることにあります。

従って、日本国内の小中学校とほぼ同じ教育内容を網らし、しかも、1) 海外在住という特殊事情 2) 海外という特殊環境を考慮して教育課程が編成され、日本国政府派遣教員と現地採用教員とによって指導に当たっております。

⑦校納金

教育内容は、日本の公立小中学校と同じですが、設置者が、地方公共団体や国ではありませんので、次の諸経費を保護者負担で納入していただくことになっています。

入 学 金	7, 680, 000	ペソ (1回のみ)
授 業 料	2, 560, 000	(一人一月)
通学バス代	1, 060, 000	
給 食 費	945, 000	

(昭和58年1月31日現在)

(¥245 / ¥54,020)

なお、納入については、児童を通じて請求書を配布いたしますので、東京銀行ブエノスアイレス支店で御払込ください。

3 現地の教育事情

アルゼンチンは中南米で最も教育の進んだ国で、文盲率は6%にすぎない。義務教育は6歳から14歳の児童を対象に7年間、無料である。中等教育(5年、日本の中2~高3)、大学教育(5~6年)も国、公立教育機関の場合は無料である。大学は入学は容易であるが、卒業がむずかしい。全国に公立と私立を合わせ小学校が2万7,000校、中学が5,000校、大学が53校、専門学校が500校ある。

ブエノスアイレス市内には、公立では小学校442校、中学校83校、工業学校35校、国立大学2校(ブエノスアイレス大学、工業大学)があり、私立では小学校と中学校が一緒のコレヒオ400校、工業学校5校、大学6校(サルバドル大学、ベルグラノ大学ほか)がある。私立のコレヒオについては、祖父母の代から代々決まった家庭の子供が通うような名門校がいくつもある。

ちなみにブエノスアイレス市内には公立図書館が148、美術館および博物館98、プラネタリウム1を数える。

(1) 現地の教育機関

公立中学では *Colegio Nacional Buenos Aires* (男子)、*Colegio Mariano Moreno* (男子)、*Instituto Nacional de Lenguas Jivas* (女子) 等、私立中学校では *Champagnat*, *Escuela Argentina Modelos* (以上男子)、*Mallinckrodt* (女子) 等が有名である。

(2) アメリカン・スクール

アメリカン・スクールなど英語の授業を行なう学校がいくつかあり、次の学校に何人かの駐在員子女、特に中学生以上の子女が通っている。

American Community School (Asociación de Escuelas Lincoln) ——

ブエノスアイレス市外にあり、小学校から高校まであって男女共学、授業はスペイン語、英語で行なわれる。経費は月額1,000ドル程度である。

Belgrano Day School ——ブエノスアイレス市内にあり、小学校から高校

まであって男女共学、授業はスペイン語、英語で行なわれる。経費は月額600ドル程度である。

Villa Devoto School ——ブエノスアイレス市外にあり、小学校から高校まであって男女共学、授業はスペイン語、英語で行なわれている。経費は月額500ドル程度である。

Buenos Aires English High School ——ブエノスアイレス市内にあり、小学校のみで男女共学、授業はスペイン語、英語で行なわれている。経費は月額500ドル程度である。

(3) 幼稚園・日本語学校

私立幼稚園は各居住地区に必ずといってよい程設置され
 入園も随時可能であり、費用は1ヵ月 40~50 US\$で
 ある。ブエノス市には文部省公認のブエノス・アイレス日語
 学院(私立の小学校)が198年3月開校をめざして設立準
 備中である。この学校はスペイン語教育の中に日本語を必須
 課目として日系子弟を主な対象としたものであり今後の発展
 が期待されている。

なおアルゼンティンには日本人移住者子弟の小、中学生
 (2~3世を含む)を対象として各地区の日本人会が主宰す
 る日本語学校が約30校あって夫々日本語の補習を行なっ
 ている。

XIII 交通・運輸・通信事情

1. 市内交通

バス 普通のバスはコレクティーボと
 呼ばれ、ブエノスの市内を縦横に走っており本数
 も非常に多く(昼間でも4~5分間隔ぐらい。深
 夜も運転)、市民の重要な足となっています。

ワンマン制で料金は区間距離によって違い、時
 間がかかりますが割安です。停留場はいたる所に
 あり、停車するバスの番号が表示されています。
 予めバスの走る路線を研究し自分が利用したいバ
 スの番号をはっきり覚えておかないと、とんでも
 ない場所に連れて行かれるので注意が必要です。

地下鉄 ブエノス・アイレスの地下鉄は
 70年余りの歴史があり、PLAZA DE MAYO
 (プラサ・デ・マージョ5月広場)を基点にA・
 B・C・D・Eの5路線が市内を放射線上に走っ
 ています。乗車券はコスペルと呼ばれる専用のメ
 ダルを買い、自動出札。5路線内の乗換えも自由
 で、均一料金制です。ただ路線の横の連絡が無い
 のが不便ですが、交通渋滞の心配もなく目的地に
 早く着く事ができるので便利です。ドアの開
 閉が不安定な車両もありますので、乗った時ドア
 の付近を避けた方が無難です。

タクシー 車体の窓より上が黄色、下が黒
 で統一され、屋根に「TAXI」の表示があるので
 すぐ分ります。車は比較的大きく定員は4人で、
 大きな手荷物などは別料金が加算されます。原則
 としてメーターに表示された料金を払えばよいの
 ですが、インフレがはげしいためメーターの調整
 が間に合わない場合は、別に用意された料金表に
 よって支払います。チップは必ずしも必要ありま
 せんが、料金の端数は切り上げるなり多少の心付
 けをあげてもよいでしょう。

タクシー代はバスや地下鉄と比べると高くつき
 ますが(ブラジルのタクシーより高い)、日本の
 タクシー代より割安で、安心して気軽に利用でき
 ます。台数も多く市内の各所を流しています。なお

ハイヤー(REMISレミスと言う)の会社もた
 くさんあり、電話で呼び簡単に利用できます。

国電

郊外住宅地からの通勤に便利である。
 但し故障により遅延したり、ストライキにより
 中止することがよくある。

2. 自家用車

当地の交通事情は特に悪いということもなく、バスやタクシーもかなり多く走っているが、雨の日や朝夕のラッシュ時は交通が非常に混雑し、思うように利用できないことが多いので、自家用の自動車を持てないと業務にも支障をきたすばかりでなく、日常生活にも不便である。

<交通に関する注意事項>

- ①日本と反対で車は右側通行、左ハンドル車で、運転にはくれぐれも注意すること。
- ②交通法規は必ずしも守られてはおらず、しかも運転も乱暴なので注意を要する。
- ③万一不幸にして事故をおとした場合、こちらから先に謝ると後で不利になるので要注意。
- ④アルゼンチンにはアウトモビル・クラブ・アルヘンティーノ (AUTOMÓVIL CLUB ARGENTINO。略称 A. C. A.) とする全国組織があり、ブエノスを始め地方へ旅行しても車の故障等の時に役に立つ。

3. 国内交通

国内交通は自動車、鉄道、航空機、船舶が使われている。

自動車の通る道路の全長は30万9,086キロで、うち3万884キロが舗装、2万4,633キロがジャリなどによる簡易舗装である。広大な国土の主要都市をつなぐ幹線道路はよく整備されていて長距離バスの便がよい。

鉄道全長は約4万キロで、中南米で最も発達した鉄道網を有するが、最近では老朽化がはげしい。

国土が広いので航空網がよく発達していて、全国主要地を国内航空便がつないでいる。アルゼンチン航空、オーストラル航空、ラデ航空などが主なものである。

船舶は大西洋沿岸と3,000キロほどの航行可能河川で重要な役割を果たしている。

(1) 航空機・空港

航空機 広大な国土をもつアルゼンチンでは、航空網が割合よく発達しております。ブエノス・アイレスを中心に、アルゼンチン国営航空、アウストラル国内航空等がアルゼンチン国内の航空網をカバーしており、一方ヴァリグ航空・クルゼイロ航空を初め各国の国際線が乗り入れております。なおブラジルと同様アルゼンチンの各空港には、小型機のチャーターを取扱う会社が、何社かあります(カウンターに AERO TAXI とか SERVICIOS AÉREOS 等の表示あり)。

<航空会社メモ>

- アルゼンチン国営航空(コードAR) :
AEROLINEAS ARGENTINAS
国際線及び国内線
- アウストラル国内航空(コードAU) :
AUSTRAL, 国内線専用
- その他国内線でエスタード航空(LINEA AEREBAS DEL ESTADO/コードLD) と
LAPA航空(LINEAS AEREAS PRIVADAS ARGENTINAS/コードMJ)があります。
- ヴァリグ航空(VARIG/コードRG) :
クルゼイロ航空(CRUZEIRO/コードSC) :
ヴァリグ航空とクルゼイロ航空は………
ブエノス/リオ・サンパウロ(毎日3~4便)を始め、ブエノス/モンテビデオ・イグアスの間を就航しています。

<航空機利用上のご注意>

- ①旅行のスケジュールが予め決まっている場合は、国際・国内を問わず日本出発前に全行程のフライトを予約しておくこと。現地で直前に予約した場合、希望のフライトがとれない場合もある。
- ②国際線の場合(原則として出発の72時間前までに)はもちろん、アルゼンチン国内線の場合でも、なるべく早目に予約の再確認(リコンファーム)をすること。これを怠ると予約は自動的にキャンセルされる場合がある。再確認は必ずしも電話だけでは受け付けてもらえず、航空券・パスポートを航空会社のカウンターに持って行くケースが多い。
- ③空港へは国際線の場合は出発の2時間位前、国内線でも1時間30分位前に行き早目にチェックインを済ませておいた方が安心。ギリギリに行くと予約の再確認をしても、乗れない等のトラブルもおこりうる。
- ④ブエノスには国際と国内線の二つの空港があり、ブラジルのリオ・サンパウロにも各々二つつつ空港がある。従ってこれらの都市発着の航空機を利用する場合、どの空港に発着するかをはっきり確かめておくこと。
- ⑤国際線はもちろん国内線を利用の場合でも、空港を利用するごとに空港税を支払う(国内線は現地通貨で支払うのでその分を用意しておく)。

空 港 ブエノス・アイレスの空港について、述べておきます。見取図は⇒40頁の空港案内図参照。

①エゼイザ国際空港 (AERORORTO EZEIZA / コード EZE) :
市の中心より45kmの所にあり、車で1時間前後。国際線専用空港で、南米各地・ヨーロッパ・アメリカの主要都市間とのフライトが発着している。ターミナルが2つあり、一つはアルゼンチン航空専用で、もう一つはヴァリグ/クルセイロ航空を初め、他国の航空会社が利用している。どちらのターミナルにも免税店・レストラン他の諸施設が完備している。

②アエロパルケ国内空港 (AEROPARQUE JORGE NEWSBERRY / コード AEP) :
市内にあり主要ホテルから車で15分位。アルゼンチン国内の便と、ウルグアイとチリーへの便の一部が発着している。やはりターミナルが二つあり、一つがアルゼンチン航空専用、他方がアウストラル航空他が利用している。空港の正式名は、ホルヘ・ニューベリーと言うが、普通はアエロパルケの名で呼ばれている。

(2) 海 運

アルゼンチンの最大の港はブエノスアイレス港で、世界の主要船舶会社がアルゼンチン航路に就航している。港湾施設はかなり整備されており、またブエノスアイレス市内にあるので海運の便は非常によい。日本からも三井OSKとNYKの定期貨物船が毎月各1船から2船入港する。ブエノスアイレス港以外の主要港としては、ラプラタ、カンパナ、バイアブランカなどがある。

日本船は、大阪商船三井船舶、日本郵船の船舶が毎月当地に寄港しており、本邦—当地間の所要日数は通常2か月前後である。引越荷物は着任後6か月以内は身廻品(荷物)に *Efectos personales Diplomáticos* と明示の(こと)として簡易通関手続が認められているが、手続の際、荷物の内訳明細書を添付しなければならないので携行する必要があり、荷物の到着後、引き取りまで7日前後の日時を要する。又、盗難のおそれがあるので、必ず保険をかけることが所望である。

4. 通信

(1) 一般事情

郵便、電信、電話はすべて国営の Empresa Nacional Telecomunicaciones de la Argentina で取扱われているが日本に比べると遙かに遅れている。国内郵便も7日～10日かかり遅配が多い。但し外国郵便は比較的早い。郵便の配達には都市では行なわれているが、地方では町の郵便局に私書箱を設けこれを利用するのが一般である。なお私書箱の開設は余裕があれば直ちに開設可能であるがその費用は約30US\$である。町角にポストが設けられているが少ないので各地区の郵便局の利用が多い。

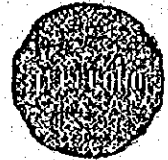
電話事情は極めて悪く設置申込みから設置までに3年以上を要することもあり、又混線や故障も多く改善を迫られている。

(2) 電話・電報・郵便

電 話 アルゼンチンの電話事情は、はっきり言って良くありません。回線の老朽化のため市内でも通じにくく、故障も多いのが現状です。しかしこれも近い将来日本企業による、大ブエノス・アイレス市の光通信網の確立によって解消される事でしょう。

公衆電話はテレフォノ・プブリコと呼ばれ、街頭の公衆電話や喫茶店や薬局にあるのを利用します。但し硬貨は使えず、電話専用のコイン(フィーシャ・デ・テレフォノ FICHA DE TELÉFONOと云う)を街の新聞売スタンドや喫茶店で買ってそれで電話をかけます。外で度々電話をかける場合は、このフィーシャをいつも充分に持っている必要があります。1通話は3分間です。長距離は公衆電話からはかけられませんので、電話局・事務所・ホテル等から申し込みます。

原寸大の電話用コイン⇨
(フィーシャ・デ・
テレフォノ)



日本への国際電話は 電話局(48-8001)へ申し込みますが、その時の回線の状況により2～4時間近くかかります。なお日本の時刻はアルゼンチンよりちょうど12時間進んでいますので、電話をかける場合時差にご注意下さい。

<緊急時の電話>

消防署(セルヴィシオ・デ・ボンベーロス SERVICIO DE BOMBEROS)は 37-1111番、 警察署(ポリシァ POLICIA)は 101番です。
なお時刻(オーラ HORA)は、113番。

電 報 電報局・郵便局又はホテルから申し込みます。時間に多少余裕があり字数も多い場合には、LT電報(カルタ・テレグラマ CARTA TELEGRAMA)が料金が安く便利です。但し配達は翌日になります。

郵 便

当地の郵便事情は決して良い方ではなく、郵便物の本邦—当地間の所要日数は航空便の場合、通常10日前後、船便で約2ヵ月を要するが、場合によっては更に1ヵ月〜2ヵ月遅延することもあり、又途中で紛失することもし珍らしくない。

従って、重要なものは書留にするが、急ぐものは書留速達にした方がより安全確実である。但し航空小包は通関手続に日時(通常2週間前後)を要する。

XIV. ホテル・レストラン事情

1. ホテル事情

ブエノスアイレス市にはホテル協会に登録されたホテルが230軒ある。そのうち日本人が考えるようなデラックスホテルは少なく、ほとんどのものが小規模のものである。国際的行事がひんぱんに行なわれるので、ファーストクラス以上のホテルは満員のことが多い。したがって予約は早めに行なう必要がある。

デラックスホテルとしては Hotel Plaza、Buenos Aires Sheraton Hotel、Hotel Libertador があり、1泊税込み料金はシングル70ドル、ツイン85ドル程度である。ファーストクラスのホテルとしては Hotel Crillon、City Hotel などがあげられ、1泊税込み料金はシングル35ドル、ツインは46ドル程度である。二流以下のホテルは1室1泊10ドルから25ドル程度である。

(1) **一般事情** ブエノス・アイレスにはヨーロッパ風のクラシックタイプのホテルが多く、部屋も広くインテリア・デザイン/備品もクラシカル調のもので。最近では米国スタイルのホテルも建造されていますが、ブエノスを始めアルゼンチン各都市ではまだホテル不足の様です。特に大ホテルが少なく、100~200室前後の小中クラスのホテルが中心となります。従って早目に予約をしておかなければいけません。

料金は他の南米諸国と比べ高めで、部屋代には

原則として、ブラジルの様に朝食は含まれておりません。規定の宿泊料金以外に、サービス料として24%以上、さらに税金が16%の合計40%余りが加算されます。チェック・アウトは12~14:00の間で、これを過ぎると半日とか1日分の宿泊料金を徴収されます。なお長期滞在の方にはペンション・スタイルの小さなホテルが街の中心地にもありますし、又レジデンシャル・ホテル(ホテル・レジデントと呼ばれる)に相当するものが住宅地にも多く存在しています(但しこれらのホテルでは英語がほとんど通じない場合が多い)。

(2) <利用法・注意事項他>

①ホテルが不足気味ですので旅行の予定が決まり次第なるべく早目に予約をしておくこと。特にシーズン中(12月から3月15日までの夏休み期間と、7月初旬より2週間の冬休み)や、国際会議などのイベントがある時は非常に混む。

②日本で予約してあっても、出来たら現地でも再確認をした方が安全。たまにフロントに記録がない場合もあるので。

③料金はチェックインの時に確認すること。アルゼンチン・ペソで表示されるが、税・サービス料込みの合計金額を知っておくとよい。

④他と南米諸国同様アルゼンチンでも、一流ホテルではまだしも一般にホテルのフロントやレストランなどで英語を話す従業員が非常に少ない。最低限必要なスペイン語を覚えておくと助かる。

⇒ 41頁の「易しいスペイン語会話」参照。

⑤両替をホテルでする場合、ホテルによってキャシャーに十分なペソが用意されてなかったり、両替をしてくれない時間帯もあるので要注意。週末はペソが不足気味。

⑥これほどの国にも言えるが、ホテルでの盗難に注意のこと。具体的には貴重品はホテルのセーフティ・ボックスに預けるなりして部屋に置き

っぱなしにしない、スーツケースには鍵をかけること、小物類(アクセサリ、ライター等)を出しっぱなしにして外出しないこと等。

⑦ホテルの部屋の生水は飲まない方が無難。水を飲みたい場合は、部屋に備えつけの冷蔵庫の、もし無ければボーイを呼んで、ガスなしのびん詰の水(アグア・ミネラル・シン・ガス AQUA MINERAL SIN GAS)を注文するとよい。

⑧バスルームの設備で、お湯の標示はC(カリエンテ CALIENTE)で、水はF(フリヤ FRIA)なので間違えないこと。よくバスルームにひもがぶら下がっているが、これは換気扇ではなく緊急の際メイドを呼ぶためのものなので、入浴中に誤って引っぱらないこと。

⑨チェックアウト・タイムを過ぎて部屋を利用する場合、予めフロントに連絡し了承をとっておくと、多少の超過分はサービスしてくれる場合もある。

⑩その他— レストラン(水は別途注文)、ルームサービス(多くの場合24時間営業)、クリーニング(仕上り日を確認すること)、ポーター(グループの場合は早目に指示のこと)等の機能は欧米のホテルと同じ。

2. レストラン事情

一般事情 広大な国土、人口の数よりも多くの牛がいるアルゼンチンでは、何と言っても肉料理が中心となり、値段も安く彼等の主食となっています。街にも数多くのレストランがありますが、肉料理を扱った店が目立ちます。その他には中国料理店の数も多く、日本食レストランもブエノス市内に軒程あります。また市内のあちこちにコンフィテリーア (CONFITERIA) と呼ばれる喫茶店があり、飲物だけでなく朝食やお茶の時間、夕方のカクテルの時間 (勤めを終え1杯やる感じ) 等に多く利用されています。家族連れも多く立ち寄っています。

昼食時間は12~3時の間で、夕食 (又は夜食) は8時~11時頃から開始します。昼食・夕食共にまずワインから始まり肉料理・デザートにいたるまでボリュームたっぷりとり、その間いろいろおしゃべりをしながら、2時間近くかけて食事を楽しんでいます。

アルゼンチン料理 既に述べましたように肉料理のヴェラエティーに富んだものがまず特産料理としてあげられます。次にその代表的なものを紹介しましょう。

アサード (ASADO) 牛のアバラの部分の肉を火で丸焼きにしたバーベキュー。お客の見える所で焼いていて、好きな量だけ切って持ってきてくれる。もともとパンパに住むガウショ (牧畜) の野趣あふれた料理です。是非お試し下さい。

パリジャダ (PARILLADA) 牛や羊の臓物 (甲状腺・レバー・腎臓・腸など) を塩だけで焼いたもので、レストランではこれを盛り合せにして出てきます。初めはちょっととっつきにくい感じですが、栄養満点で味もなかなかいけます。

プッチェーロ (PUCHERO) 骨のついた肉を野菜等と一緒に煮込んだ水炊きで、このスープだけを飲んでも美味しい。

エンパナーダス (ENPANADAS) 肉のパイの1種で、ひき肉に干しぶどう・とうもろこし・卵・オリーブなどを混ぜたものです。

飲物

飲料水 ブエノス・アイレスの水道事情はきわめて良く水質も良好のようですが、旅行中やまだ慣れない間は生水は飲まない方がよいでしょう。水を飲みたい時はやはり、市販のビン詰めミネラルウォーターをお勧めします。ホテルの部屋に冷蔵庫が備えつけてある場合には、必ずビン詰めの水も入っています。なおこの際もレストランで注文する時も、日本人の口に合った炭酸ガス抜きの水を注文します。なお一般の家庭では、水道の水をこしたり煮沸する場合があります。

ワイン アルゼンチンはチリーと共に良質のワインを産し輸出もしています。ワインの事は一般にヴィーノ VINO と呼びますが、赤ワインはテイント TINTO、白ワインはブランコ BLANCO、ローゼ・ワインをロサード ROSADO と呼びます。メンドーサ産のワインは特に有名です。ワインの値段はミネラル・ウォーターとあまり変わらず非常に安く、昼食や夕食時には必ずと言っていい程飲まれています。赤ワインのお勧め品としては、トラピチェ TRAPICHE やノルトン NORTON を、白ワインではエクス・オー・ロエベル XO LOEBEL 等があります。

その他の飲物として、ウィスキー WHISKY もビール (セルヴェーサ CERVEZA と呼ぶ) も国産のがあります。輸入品のスコッチ・ウィスキーは高くつきます。ソフト・ドリンク (ベビーダ・シン・アルコール BEBIDA SIN ALCOHOL)

としては、いづれも同じコーラやジュース類があります。ビールでは国産のキルメスQUILMESをどうぞ。

レストランでの食事 肉料理をメインに取扱ったアルゼンチン式レストランのみならず、首都ブエノス・アイレスにはフランス・ドイツ・イタリア・アメリカ風・中国その他の国のレストランがありヴァラエティーに富んでいます。昼食そして特に夕食（夜食）では非常に時間をかけて食事をします（くだいたい2時間ぐらい）。レストランでの夕食は早くても8時過ぎにオープンで、その代り夜は明け方近くまでやっております。

メニューはスペイン語と、ツーリストがよく利用するレストランでは英語でも書かれています（普通のローカルレストランでは、スペイン語だけの表示が多い）。まず飲物の注文を必ず聞かれます。普通はワインを注文する訳ですが、お好みによって好きなものをオーダーして下さい。さてフルコースの場合オードブルに始まって、スープ・アントレ・デザートと進む訳ですが、料理が遅れば

てくるまでかなり時間がかかります。この間アルゼンチン人は一向に気にせず、会話を楽しんでおります。グループの場合の食事は、最低1時間30分位は見積っておく必要があります。

清算の時の勘定書には、通常税金が16%ぐらい、それとサービス料として25%前後請求されます。勘定にサービス料（チップPROPINA）が含まれていない場合には、飲物と食事のウェイターに10~20%位のチップを必要とします。インフレの関係もあり、最近レストランでの食事でも高くつくようです。

レストランでのディナー・ショーですが、ブエノス市内及び郊外に何軒かありますが席数に限りがありますので多くの場合、グループはもちろん個人でも予約をする必要があります。開演時間が遅いので、夕食は別の所で済ませておいて、ショーを見る時は飲物だけを注文するというのも一法でしょう。

3. チ ッ プ

空港、ホテルのポーターには荷物1個につき10.ペソ(約100円)、ホテルのルームメイドには1日20.ペソ以上払う。

レストランでは、請求書に法定チップ23%が加算されてくるが、慣行として給仕に代金の5%ぐらいをおく。また、劇場、映画館の案内係には5.ペソ(約50円)渡せばよい。

XV. 娯楽・スポーツ・交際

1. **一般事情** アルゼンチンのレジャー・レクレーションも、なかなかヴァラエティーに富んでいます。映画・観劇・音楽鑑賞などの文化的活動や、サッカー・ゴルフ・テニスなどのスポーツも盛んですし、友人や近所の人達との交わりも生活上大切なレジャー活動となっています。

ブエノス・アイレス市には劇場・音楽ホール・美術館・博物館も多く、また街のいたる所に公園があり市民の憩いの場となっています。ブラジルのサンパウロのように日本的なレジャー活動は盛んではありませんが、日本からの赴任者は個人的なレクレーションと共に、何らかのサークルやクラブに加入するなりしてレジャー生活を送っているようです。次に簡単に各レジャーとスポーツについて触れてみます。

2. **パーティー** 親しい友人や、地域社会の隣人、サークル活動の仲間などによくパーティー（フィエスタ FIESTA と呼ぶ）を催します。カクテルパーティーだったり、食事だったり野外のシュラスコ・パーティー等、いろいろですがお互いに招待し合います。日本と違うのはあくまでも家族単位ですから、必ず婦人同伴かケースにより子供も参加します。話好きのアルゼンチン人との交際にも、早く慣れるようにしましょう。

なお郊外へのドライブやピクニックも非常に盛んです。

3. **文化活動** ブエノス・アイレスにある世界三大劇場の一つコロン劇場では、毎年4～11月のシーズンには本格的なオペラが上演されます。ここでは豪華な雰囲気の中で、世界一流の歌手によるオペラを始め、クラシックのコンサート・バレエ等も鑑賞できます。また市内には本場のアルゼンチン・タンゴを聞かせてくれるクラブも、何軒もあります。

4. **テレビ・映画** テレビはまだあまり普及しておらず、放映のチャンネルは4局のみで内1局がカラー放送です。その代り映画は非常に人気があり、どの映画館もいつでもにぎわっています。午前中は上映されず、午後から夜中までやっており週末は特に混み合います。アメリカ映画が多く、原則として入れ替え制です。日本人会館では、時々日本映画が上映されています。

5. **新聞・雑誌・書籍** ブエノス・アイレスで発行されている邦字新聞に、「らぶらた報知」と「亜国日報」があります。週3回発行ですが、在亜邦人の間で愛読されています。英語の新聞では、「BUENOS AIRES HERALDO」があります。雑誌は輸入雑誌ともに、普通街角のブック・スタンドで売っています。ここでは立読みはできません。日本の雑誌も取扱っている店もあります。

6. **賭けごと** アルゼンチンでも宝くじが盛んで、国・州・市主催といろいろな種類のもが発売されています。ブエノスの南400km（飛行機で1時間）のマル・デル・プラタ（MAR DEL PLATA）と呼ばれる海兵リゾートには、世界最大のカジノがありシーズン中の夏は賑わいます。

なお在亜の日系及び日本人の間でも、マージャンに人気があり、男性ばかりでなくかなりの女性もゲームを楽しんでいます。

7. **ゴルフ** 駐在員の間では特に盛んなようです。ブエノス市内パレルモ公園内にはパブリックのゴルフ場があり、予約なしでプレーできます。

郊外には10以上のクラブがありますが、いわゆるカントリークラブで会員別です。その一つ「イトゥサイゴITUZAINGO・ゴルフ・クラブ」は、日本人の会員も多いクラブです。キャデューは全員男性で、希望によりコーチもしてくれます。

8. **スポーツ** 代表的なものは何と言ってもサッカーです。街角やちょっとした広場でも、少年達がゲームに興じている姿が見られます。次に人

気があるのが、ボクシング・テニス・乗馬・ボロ等で、最近では空手や柔道も流行しています。一般にブエノス・アイレスでスポーツをやるには、何らかのクラブに入会します。一流のクラブになりますと、あらゆる運動施設が完備されており、さらにクラブハウスにはレストラン・カフェテリア・カード室・ボウリング場から美容室まで備わっています。南部のパリローチェでは、スキーもできます。

9. 観光

観光は市内、郊外ともに観光バス会社の英語、スペイン語ガイド付きのツアーがあり、ホテルで予約すればバスが迎えにくる。ブエノスアイレス市内では南米の端にあるヨーロッパ風の大都市そのものが名物と考えられ、北半球の都会から訪問する観光客にはさほど珍しいものではない。

郊外ではパラナ河口のティグレ水郷、ラプラタ市の国立ラプラタ大学付属自然科学博物館（古代生物化石で有名）、パンパのガウチョ風俗などが一見の価値がある。また、飛行機で遠方の州へ行けば、北部ブラジル国境のミシオネス州の壮大なイグアスの滝、南部ネウケン州とリオネグロ州にまたがるナウエルウアピ（パリローチェとして知られている）の湖水など10余の国立公園がある。

10. 海の家

JICA支部職員厚生会では、毎月給与の1%を積み立て、年に一度、年末（12/28～1/31）に海の家を開設、職員専門家とその家族全員で海水浴に行っている。水着・釣り道具が必要。

11. 交際

アルゼンティン社会では家庭相互の交際は極めてひんぱんで家族ぐるみの交際を大事にするので日本人は不得手である。子供の誕生日祝や結婚式などはもとより、日常の交際でも割に簡素で日本人のように見栄を張ることは少ない。結婚式の披露宴も一般に簡素である。

日系社会の催しや会合は日本的であるが、夜のパーティには女性は和服又はロングドレスが必要である。

葬式はお通夜のあと教会に行き墓に納棺するが一般には土葬であるが特別の場合には火葬も可能。香典の習慣はなくお通夜に献花するのが多い。

XVI. 日系社会

1. 邦人数・職業分布

当国への日本人移住は明治41年に始まり現在の日系人数は約3万1千人でその70%は沖縄県出身者が占め他は鹿児島、熊本、福島県などの出身が多い。これら日系人の職業分布は洗染業が42%、花卉栽培者が18%を占めているのが特色で残りは商工業その他となっている。

又これら日系人の約80%はブエノス市及びその近郊50Km圏内に居住している。なお日系人のうちその60%は既に2~3世であり、それらの中には大学を卒業し医師、弁護士、教授や技師となって各界に進出している。今後ますますその層が厚くなりつつあり将来の活躍が期待されている。

一方日本からの新しい移住者は年間40~50名が継続しているが、日系子弟の日本留学も年間30名をこえ、日本語教育も熱心に行なわれている。

2. 大使館・公的機関など

(1) 日本国大使館

Av. Paseo Colón 275	Tel 30-6181
領事部 " "	(直) Tel 30-5645
広報文化センター	Tel 45-6953
PARAGUAY 1126	Tel 45-3111
	Tel 45-8508

(2) 国際協力事業団

AGENCIA DE COOPERACION INTERNACIONAL DEL JAPON	Tel. 311-0514
Dr. Ricardo Rojas 401 - 80 Piso	312-8926

(3) JETRO

LAVALLE 1125,6 PISO 14	Tel 30-0684
------------------------	-------------

(4) 日本輸出入銀行

CORRIENTES 456,5 PISO 55	Tel 45-3784
--------------------------	-------------

(5) 在ア日本人会

AV. INDEPENDENCIA 732	Tel 26-8182
	Tel 26-8149

- (6) 在ア日本商工会議所
LIBERTAD 836.2 PISO 38 Tel 42-1104
- (7) アルゼンティン拓殖農業協同組合
VENEZUELA 2130 Tel 941-1675
Tel 942-6675
- (8) ニッパル花卉園芸組合
AV. CORRIENTES 4062 Tel 86-6806/09
- (9) 東京銀行
MAIPÚ 316, Tel 49-7661/65
- (10) 日本航空
CORDOBA 858, Tel 392-7213
Tel 392-7198
- (11) 共同通信社
AV. CORRIENTES 456.2 PISO Tel 49-5787
- (12) 邦字新聞社
ア. 亜国日報社 MEXICO 2044, Tel 941-9551
イ. らぶらた報知社 USPALLATA 981, Tel 28-8716

XVII. 通貨と両替

単 位 ペソ PESO (詳しくはペソアルゼンチン) と呼ばれ、この下の単位はセンターボと言う単位がありますが、実際は価値が低いため現在使われておりません。単位の表示は \$^a スはPを使う時もあります。

「換算レート」参照, 1984年 1月現在。
US \$ 1.00 = 23.29 1 \$^a = ¥ 9.90

両 替 まず到着時に空港の銀行で、滞在中は市内の銀行又は両替店で両替できます。金銀行より両替の方が、多少率が良いようです。

<一般事情と注意事項>

①まず一般事情ですが、アルゼンチンでは近年激しいインフレの為ペソの価値が大幅に下落しています。

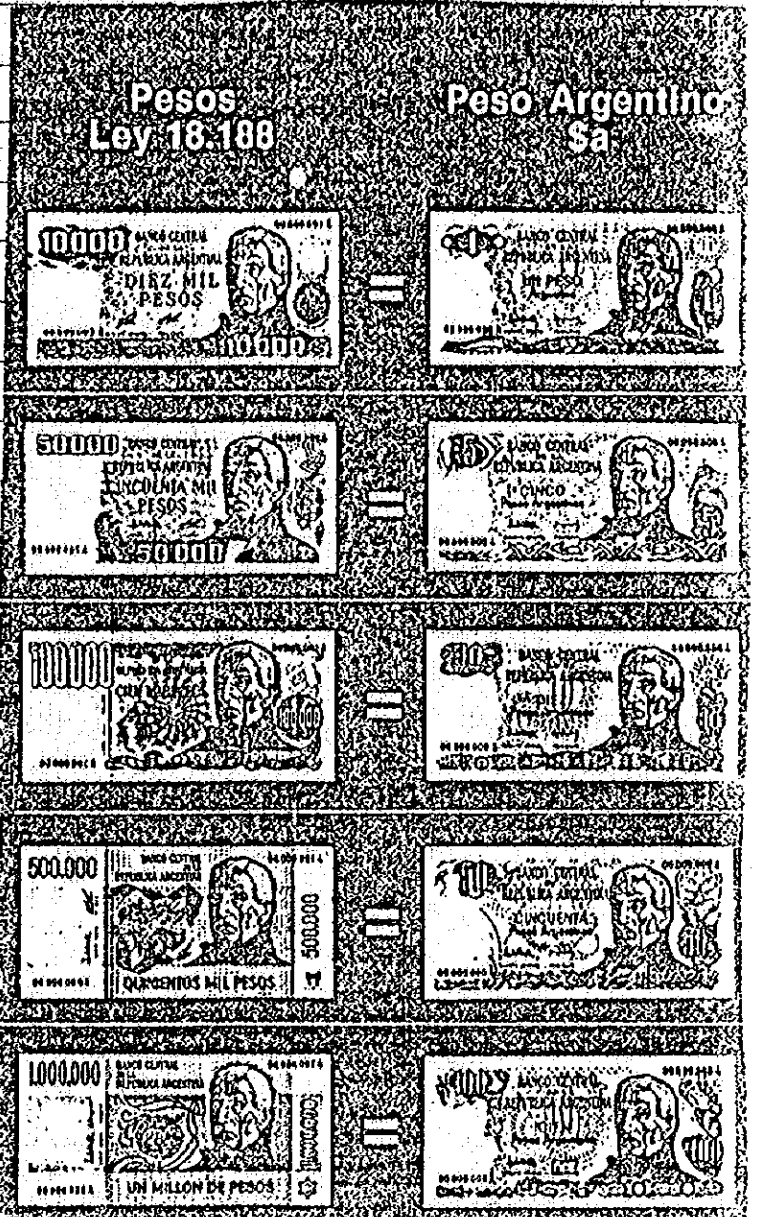
概 類 1983年6月1日から1000分の1にデノミが行なわれ、紙幣には、1, 5, 10, 50, 100, 1000の6種類があり、硬貨は、1センボ、5センボ、10センボ、50センボの4種類がある。

②旅行者の場合、多く両替しすぎないように注意下さい。ペソから再びドルへの両替はできません。他の南米諸国ではその国の通貨に両替できますが、多少レートのロスがあります。ペソは日本へ持ち帰っても金々両替できません。

③アルゼンチン・ペソ(ブラジルのクルゼイロも同様)は、毎月切り下げをしていますので特にレートの変動が目立ちます。両替商では銀行よりも多少よいレートで替えてくれます。

④紙幣は額に関係なく大きさも色もよく似てますので、支払いの際数字をよく見て間違わないようにご注意ください。また、中にはデノミ前の旧ペソが今だ流通している事があり、その場合必ず旧(ビエホ VIEJO)か新(ヌエボ NUEVO)かを確かめましょう(新旧で10000倍違ってきます)。

⑤日本円の両替は普通の銀行ではあまりやってくれません。アルゼンチンでも一般に、日本円よりUSドルをお持ちになる方が便利なようです。現金より旅行小切手の方が安全なのは、言うまでもありません。



PESO ARGENTINO \$a



Las unidades antiguas tendrán las siguientes equivalencias con los nuevos billetes y monedas.

PESOS LEY 18188		PESO ARGENTINO	
Moneda	100	Moneda	0,01
Billete	500	Moneda	0,05
Billete	1.000	Moneda	0,10
Billete	5.000	Moneda	0,50
Billete	10.000	Billete	1
Billete	50.000	Billete	5
Billete	100.000	Billete	10
Billete	500.000	Billete	50
Billete	1.000.000	Billete	100

XVIII、簡単なスペイン語会話

アルゼンチンでは(また他の中南米諸国でも同じですが)、思ったより、英語が通じません。せっかくアルゼンチンを旅行するのです。この機会に是非スペイン語を覚えましょう! 旅行も、滞在も一層楽しくなります。スペイン語の発音はだいたいそのままローマ字読みで簡単、意外とすぐ通じます。そして、人なつっこく陽気なアルゼンチン人の、アミーゴ(友達。女性の場合はアミーガ)をつくりましょう。

まず挨拶から

お早よう。	ブエノス・ディアス	Buenos días.
今日は。	ブエナス・タルデス	Buenas tardes.
今晚は。おやすみ。	ブエナス・ノーチェス	Buenas noches.
初めまして。	ムーチョ・グスト	Mucho gusto.
私の名前は、_____です。	メ・ジャーモ _____	Me llamo _____.
あなたのお名前は?	コモ・セ・ジャーマ・ウステ	¿Cómo se llama usted?
私は日本からの観光客です。	ソイ・トゥリスタ・デ・ハボン	Soy turista de Japón.

最低必要語

はい・いいえ。	シ . . . ノ	Si . . . No
(どうも)ありがとう。	(ムチャス)グラシアス	(Muchas) Gracias.
どういたしまして。	デ・ナーダ	De nada.
どうぞ。	ポル・ファヴォール	Por favor.
お元気ですか。	コモ・エスタ・ウステ	¿Cómo está usted?
元気です。ありがとう。	ムイ・ビエン・グラシアス	Muy bien, gracias.
で、あなたは?	イ・ウステ	¿y usted?
スペイン語は話せません。	ノ・アプロ・エスパニョル	No hablo español.
すみません。	ベルドーネメ	Perdoneme.
さようなら。	アディオース	Adiós.

もう少し覚えましょう

これは何ですか？	ケ・エス・エスト	¿Qué es esto?
言う事が分りますか。	エンティエンデ	¿Entiende?
分りません。	ノ・エンティエンド	No entiendo.
もう一度言って下さい。	レピークロ・ボル・ファヴォール	Repétalo, por favor.
もう少しゆっくり。	マス・デスパーシオ	Más despacio.
いつ・どこで。	クァンド・ドンデ	¿Cuándo? ¿Dónde?
どうして。	ボルケ	¿Por qué?
どう言う風にして。	コーモ	¿Como?
いくつ。	クアント	¿Cuanto?
少し・たくさん。	ポーコ・ムーチョ	Poco . Mucho
待って下さい。	エスペレ・ウン・モメント	Espere un momento.
あなたの電話番号は？	ス・ヌーメロ・デ・テレフォノ	¿Su número de teléfono?
あなたの住所は？	ス・ディレクシオン	¿Su direccion?
ここに書いて下さい。	エスクリーバロ・ボル・ファヴォール	Escríbalo, por favor.
何才ですか？	クアントス・アーニョス・ティエネ・ウステ	¿Cuántos años tiene usted?
私は _____ 才です。	ジョ・テンゴ _____ アニョス	Yo tengo _____ años.
私・私の。	ジョ・ミ(ミス=複数形)	Yo . Mi (Mis)
あなた。	ウステ	Usted
あなたの(彼/彼女の)	ス(スス=複数形)	Su (Sus)
彼・彼女。	エル・エジャ(エーリャ)	El . Ella
私達・私達の。	ノソトラス(ノソトラス=女性形) ヌエストロ(ヌエストラ=女性形)	Nosotros (Nosstras) Nuestro (Nuestra)
良い。	ブエノ	Bueno
悪い。	マーロ	Malo

買 物

_____ を買いたい。	デセーオ・コンプラール _____	Deseo comprar _____.
これ・あれ(単数)	エステ・アケール(単数)	Este . Aquel
お勘定・チップ	クエンク・プロピーナ	Cuenta . Propina
両替・お金	カンピオ・ディネーロ	Cambio . Dinero
急いで下さい。	テンゴ・プリッサ	Tengo prisa.

いくらですか？

クェント

¿Cuanto?

高い・安い

カロー・バラート

Caro . Barato

まけて下さい。

デスクエント・ボル・ファヴォール

Descuento, por favor.

数字・曜日・月

0	セーロ	cero	月 曜 日	ルース	lunes
1	ウーノ	uno	火 曜 日	マルテス	martes
2	ドス	dos	水 曜 日	ミエルコレス	miércoles
3	トレス	tres	木 曜 日	フェヴェス	jueves
4	クワトロ	cuatro	金 曜 日	ヴィエルネス	viernes
5	シンコ	cinco	土 曜 日	サバド	sábado
6	セイス	seis	日 曜 日	ドミンゴ	domingo
7	シエテ	siete			
8	オーチョ	ocho	1 月	エネーロ	enero
9	ヌエーベ	nueve	2 月	フェブレーロ	febrero
10	ディエス	diez	3 月	マルソ	marzo
15	キンセ	quince	4 月	アブリル	abril
20	ヴェインテ	veinte	5 月	マージョ	mayo
30	トレインタ	treinta	6 月	フーニオ	junio
40	クアレント	cuarenta	7 月	フーリオ	julio
50	シンクエンタ	cincuenta	8 月	アゴスト	agosto
60	セセンタ	setenta	9 月	セプティエンブレ	septiembre
70	セテンタ	sesenta	10 月	オクトゥーブレ	octubre
80	オチェンタ	ochenta	11 月	ノヴィエンブレ	noviembre
90	ノヴェンタ	noventa	12 月	ディシエンブレ	diciembre
100	シエン	cien			
1,000	ミル	mil			

食 物 と 飲 物

レストラン	レスタウランテ	restaurante
朝 食	デサユーノ	desayuno
昼 食	アルムエルソ	almuerzo
夕 食	セーナ	cena
アルゼンチン料理	プラト・アルヘンティーノ	plato argentino
中華料理	プラト・シーノ	plato chino
メニューを下さい。	エル・メヌー・ボル・ファヴォール	El menu, por favor.
定 食	プラト・デル・ディーア	plato del día
下 さい (あれと同じものを)	トライガノ (エル・プラト・イグアル・アケール)	Tráigame _____. (el plato igual aquél)
ガス無しの冷たい水	アグア・フリア・シン・ガス	agua fria sin gas
ぶどう酒	ヴィーノ	vino
ビ ー ル	セルヴェーサ	cerveza
ジュース(オレンジ・トマト・ パイナップル)	フーゴ (デ・ナランハ・トマーテ・ ピーニャ)	jugo (de naranja, tomate, piña)
ミルク(ホット)	レーチェ(カリエンテ)	leche (caliente)
ス ー プ	ソープ	sopa
牛 肉	カルネ・デ・ヴァカ	carne de vaca
豚 肉	カルネ・デ・プエルコ	carne de puerco
若 鶏 肉	ポージョ	pollo
魚(えび)	ベスカード(カマローネス)	pescado (camarones)
ご飯/パン	アロース(パン)	arroz (pan)
砂糖/塩	アスーカル/サル	azúcar / sal
サラダ(果物の)	エンサラダ(デ・フルータ)	ensalada (de fruta)
アイスクリーム	エラード	helado
コーヒー/お茶	カフェ/テ	café / té
もうたくさんです。	バスクンテ	bastante

< 参考資料 >

ブエノス・アイレス日本人学校 紹介

□所在地□ ブエノス・アイレス <アルゼンチン>

●学校名等● (56.5.1現在)

学 校 名 (現 地 名 称)	ブエノス・アイレス日本人学校 ASOCIACION CULTURAL Y EDUCATIVA JAPONESA		
設 立 年 月 日	昭和43年10月1日	校 長 名	河 村 透
設 置 者	日本文化教育協会	運 営 主 体	日本文化教育協会
学校のステータス	市の認可による日本人子弟の義務教育機関	運 営 責 任 者	高 須 博 (三井物産)
学 校 住 所	La Pampa 3520, Buenos Aires, Argentina. TEL 552-1919		

●児童・生徒数●

	小 学 部							中 学 部				合 計
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	
男	11	13	13	10	6	6	59	6	8	5	19	78
女	5	7	3	3	6	6	30	8	4	1	13	43
計	16	20	16	13	12	12	89	14	12	6	32	121
学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	3	9

●教職員一覧●

(56.5.1現在)

職 種	氏 名	年 齢	担 任	担当教科	出 身	任 期
校 長	派遣教員 河村 透	52	-	英(中)	山 口 県	56.4~59.3
教 頭	" 松下 葵	48	-	音(小3~中3)	石 川 県	55.4~58.3
教 諭	" 和泉 啓二	31	小 1	-	千 葉 県	55.4~58.3
"	" 渡辺 英司	32	小 2	-	愛 知 県	54.4~57.3
"	現地採用教員 菅原 和雄	36	小 3	図(小2-6)・英(中)	東 京 都	58.4~
"	派遣教員 岡本 越夫	37	小 4	理(小3・4)・体(小3・4)	大 阪 府	56.4~59.3
"	" 武市 敏	42	小 5	体(小5・6・中1-3)	愛 媛 県	54.4~57.3
"	" 日野 務	46	小 6	数(中2~3)	北 海 道	54.4~57.3
"	" 高植 利邦	34	中 1	理(小3・中1-3)・英(中)	熊 本 県	56.4~59.3
"	" 田中 節男	36	中 2	社(小3・4・中1-3)	福 岡 県	54.4~59.3
"	" 湖山 和彦	45	中 3	図(小5・中1-3)・算(小4-6)	東 京 都	54.4~57.3
"	現地採用教員 依 澄子	50		生活・保健・図画	沖 縄 県	52.4~
調 師	" クリスチーナ・ア・セル・ボセ	32		スペイン語		48.4~
"	" 安谷屋アリーシャ	29		"		56.1~
"	" 私市 モニカ	23		"		52.4~
"	" 和泉 節子	26		家(小5~中3)	千 葉 県	55.4~58.3
事務職員	現地採用職員 佐藤 ミルク	28				55.7~
ポルテーラ	" バボン・ネリー	37				44.7~
警 員	" フーリオ・ゴメス	48				54.12~

●週あたり授業時間●

★週間授業日数：5日・休業曜日：土・日曜日

学年	教科	国	算(数)	社	理	図(美)	音	家(技)	休	道	特活	英	西語	国教 療育	計
		小	1	7	4	2	2	2	2		3	1	1		2
	2	8	5	2	2	2	2		3	1	1		2		28
学	3	7	4	3	3	2	2		3	1	2		2	1	30
	4	7	5	3	3	2	2		3	1	2		2	1	32
部	5	7	5	3	3	2	2	2	3	1	2		2	1	33
	6	6	6	3	3	2	2	2	3	1	2		2	1	33
中	1	5	4	4	3	2	2	2	3	1	2	3	2	1	34
学	2	4	4	4	4	2	2	2	3	1	2	3	2	1	34
部	3	4	4	4	4	2	2	2	3	1	2	3	2	1	34

●日課表●

時刻	入学	短学活	1時限	2時限	3時限	4時限	昼休憩	5時限	6時限	7時限	清掃	短学活	下校	下校
日課														

●学期および長期休暇●

第一学期	4月13日～7月31日	一学期末休暇(夏)	8月1日～8月16日
第二学期	8月17日～12月24日	二学期末休暇(冬)	12月25日～1月24日
第三学期	1月25日～3月16日	三学期末休暇(春)	3月15日～4月12日
その他の休暇	労働者の日、政府創立の日、・国旗の日、独立記念日、サンマルチンの日、 聖母受胎の日、・クリスマス、・新年 ・は休業日と重複するもの		

●施設の概要●

敷地面積	3,714 m ²	運動場面積	2,050 m ²
校舎構造	レンガ2階建て	延面積	482 m ² 収容生徒数 100人
校舎内訳	1階(校長室、職員室、会議室、図書室、保健室、調理室)2階(普通教室9) 別棟特別教室1棟(理科室、美術・図工・技術室、音楽)2階(音楽室)		
講堂・体育館	講堂(校舎内の1階の1室をあてている)	プール設備	6.5 m×15.5 m
その他の付属設備など	野外学習場(屋根付)、自転車		

スクールバス	所有台数	0台	借上(契約)台数	現地運送会社と契約3台
--------	------	----	----------	-------------

●父兄負担経費●

単位：円

費目	小学部	中学部	備考
入学金	33,000	37,720	
授業料(月額)	16,500	18,860	
スクールバス(〃)	18,430	18,430	
給食費(〃)	13,500	13,500	

現地通貨(ペソ) 対円レート(1円=14ペソ)

●学校の沿革●

- 昭和39年11月 土曜日VIRREY DEL PINO
で補習授業開始。
- 昭和43年1月 学校設立認可申請。
- 10月 開校式(1日)。AV. DE LOS
INCAS,
- 昭和44年10月 創立1周年記念式典。
- 昭和45年9月 OLAZABAL 3545に学校移転
する。
- 昭和47年2月 ブエノス・アイレス日本人学校
と改称する。
- 5月 学校給食開始。
- 9月 SUPERI 1864に移転。
- 昭和52年2月 増築校舎竣工、学級園完成(14
日)。
- 昭和52年10月 日本人子弟の義務教育機関とし
て市より認可される(1日)。
創立10周年記念式典(15日)。
- 昭和53年1月 LA PAMPA 3520に移転。
- 2月 新校舎落成記念式典(5日)。

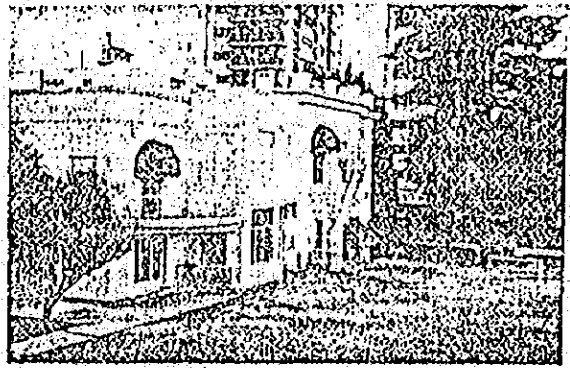
●学校の近況と特色●

昭和54年2月5日の新校舎落成記念式典は、本校にとって校史をかざる1ページといえる。過去何回かの校舎移転はあったが、手狭まであり、その上借り物であり、また市当局からも公認されておらず、肩身のせまい学校であった。

ブエノス・アイレス日本人学校は、関係各位のご努力によって、日本人子弟の義務教育機関として、創立10周年を機に、ブエノス・アイレス市から特別に認可された。また、借り物でない新校舎への移転もできた。

学校は中心街よりややはずれた住宅街にあり、緑が多く空気も比較的きれいな静かな所にある。施設は、普通教室が9室(2階)あり、管理室関係の部屋を1階に配置している。その他、特別教室(理科・音楽・美術・技術)および野外学習場(屋根付)は別棟にある。また運動場および兼用コート(テニス・バスケット)、プールの改装も完了した。

教材・教具の面については、本校の設置者である日本文化教育協会が、新校舎落成を機に多額の予算を計上し、昭和55年度以降は、施設・設備の完備、教材・教具の充足された中で教育活動が営まれてい



る。
本校の持つ問題点をあげれば——以下の問題点は他の日本人学校でも共通のものが多いと思うが——第一に、児童・生徒の転出入の激しいことである。日本人学校を支える保護者の在任期間は平均2.5年である。こうした中でいかに教材内容の精選、教育課程の充実、研究の促進をはかったとしても、あまりにも次元の違う問題であり、与えられた課題の厳しさに苦しんでいる毎日である。また人間関係の形成面でもいろいろと問題を含んでいる。

第2は、南緯34度に位置にブエノス・アイレスは、丁度日本と表裏の関係にある。この自然的、社会的環境の違いをいかに克服し、日本国内の教材とどのように同化させるか、理科・社会、その他の生活関連教材面の取り扱いの努力と工夫が要求されている。

第3に国際理解教育の推進について本校では週2時間のスペイン語の授業を全員に実施しているが、親子共西語に対する理解不足と転出入のはげしさのため個に徹した指導がしにくい。また現地人の講師の指導法の問題、下校後に現地人との接触の機会が少ないこと等多数の問題点が指摘される。一方、スポーツやその他の交歓会等も、週5日制のため1日7時間という過密ダイヤとなり、その時間がとりにくく、保護者の理解も十分でないため実施に障害が多いが、年間計画により実施している。

第4にインフレが著しいために年間予算を立てても無為に等しく、随時、授業料等の徴集金の増額があり、そのため保護者がいろいろな面に介入してくるのも無理からぬことであるが、教育活動推進には大きな妨げとなることである。また、教材・教具の購入に際しても多額の金と時間・労力がかかることも問題である。

第5に進学問題であるが、募集要項等、内地の情報をできるだけ入手するように努めているが、受験地が全国各地にあるため情報収集が困難であること、通信による諸テスト等を実施して指導しているが、文書の往復には1月近くかかり、またどの程度の実力が希望校に必要なのか等の情報が得にくく指導に困難を極めている。しかし、現在までは、一応本人の志望の学校へは入学させているが、今後上記の情報が要求されるわけである。

以上のほかにも数多くの問題点があるが、全職員が、各分野で困難を克服し、その責を果たして、教育活動を推進している現状である。

●現地の生活概況●

気候 ブエノス・アイレス市は、南緯34度にあり、夏は温暖で冬はさびしい。しかし市内では霜や雪の心配はない。ただ南風が南極大陸より吹き込むと冷えることが多い。大陸性気候で気温の変化が激しく夏でもセーターが必要なときもある。街路樹の様子によって四季を感じるが、種類によっては広葉樹でありながら落葉せず越冬するものもあるし、花を咲かせているものもある。手入れのよい芝生は、1年中青々としている。

言語 スペイン語が公用語だが、イタリア語、フランス語、英語の順で通用する。英語は主なホテル、レストラン、旅行社等に限られる。スペイン語も本場カステジャーノとは用法・発音など若干の相違がある。

衣食住 衣生活はヨーロッパが主体となっており、大変おしゃれな感じで、色調も多彩であるが高価である。衣類はどんな物でもあるが、体型の相違により、ぴったりというわけにはいかない。男性の下着類が乏しい。

食事は、肉食が主である。野菜、果物も豊富で年中店頭に並んでいる。ビーノ(ワイン)の種類も多く美味である。食料品店は個人経営の専門店がほとんどで、市場もあるが1か所で買い物を済ませることは困難である。最近、スーパーマーケットができたが数が少ない。日本食は大体入手できるが非常に高価である。

住宅は、金持ちを除いて、ほとんどの人がデバルトメント(アパート)に住んでいる。建物の内部には直射日光が入らないように設計されており、常に室

内は暗い。デバルトには管理人がいて、ゴミ処理、電気・水道等の修理、郵便物の配達などをしてくれる。他人の家を訪問の場合、その家の許可がないと玄関の扉は開かない。鍵が生活の基礎である。家具は相当高く最低900ドルぐらいは覚悟しなければならない。

医療 日本語の通じる医者がいるので心配はないが医療分業である。保険制度はあるが、労働組合加入者でないと利用できない。初診料は9万ペソ、出産は400万ペソ(3日間)くらい。医者、レントゲン技師、看護婦、付添人など世話になった人の数だけ治療費は高くなり、健康を第一に考えなくてはならない。薬局は休日や終夜も開いているが、薬は速効性で一般に強力であり、薬による後遺症には注意を要する。

その他 信仰は自由であるが、ラテン系の民族が多いため国民の80%以上がカトリック教徒で占められ、国に保護されている。ラテンアメリカ諸国中もっとも文化の発達した国といわれ、文盲が少なく、教育の普及度も高い。都市計画もゆきとどき、交通機関等も便利である。産業は、農牧業が主体だが、近代国家を目ざし、重工業、造船、自動車、家庭電器その他軽工業等の発展に力を入れ、あるものは輸出するまでになっている。政治は軍事政権で今の所安定しているが、インフレが著しく、1か月約7%の上昇率である。現地人は3か月に1度のこれに見合うペースアップにより調整しているが、日本から出向した者にはこれがないので生活は楽ではない。工業製品(輸入品)は特に高く、日本の3~5倍はしている。

現地の物価 (5月1日調べ、1円=14ペソ、1\$=3,000ペソ) 米=400円、食パン=250円、肉(ロース)=2,000円、ジャガイモ=350円、レタス=1,000円、タマネギ=250円、ニンジン=200円、ミカン=270円、リンゴ=330円、バナナ=350円、みそ=1,200円、タイ=440円(以上の単価は1kg)、しょうゆ17=1,200円、牛乳17=120円、コーラ=370円、たばこ1箱=420円

●転学に必要な手続き●

★入学申し込み——入学申請書に所定事項を記入し、日本文化教育協会会長に提出する。申し込み手続き終了後、児童生徒同伴の上、本校に赴き所定の手続きをする。

★旧在籍校から持参する必要書類——在学証明書、

指導要録写、身体検査票、歯牙検査票、教科書給与証明書、指導要録の抄本(中1への新入生のみ)

●渡航時に所持する学用品など●

1.教科書

教科書給与証明書を転出学校長よりもらい、海外子女教育振興財団より入手して持参のこと。

2.通学用品

靴(ひものない運動靴)、帽子(学生帽不要)、かばん

3.学習用品

国語……習字(毛筆)用具、練習用半紙、低学年用ノート(1年8ます3冊、2年12ます6冊、3年漢字練習帳5冊、1年0ます5冊)

算数……学年に応じたノート(1年用5冊、3年8mm方眼ノート6冊)、三角定規、コンパス、分度器

社会……白地図(5・6年、中学)、8mm方眼ノート3冊(小3年)

理科……小1用ノート5冊、解剖セット(5・6年、中学)、虫めがね・万位線針(小2年)

音楽……鍵盤ハーモニカ(金具)、たて笛(小3年以上)、アルト笛(中学)

図工……水彩画用具、彫刻刀、クレパス

体育……体操服(白の長半袖と短パン、フリーマー(紺・黒)、体操帽、運動靴、海水パンツ・水着、水泳帽、なわとびロープ

家庭……裁縫セット(小5・6年、中女子)

技術……製図用具(中男子)(大型三角定規長辺30cm位)

4.その他

予定の滞在期間に応じて各教科とも学年に応じたノート、日記帳、ドリル帳、参考書、辞典(国語、漢和・西和、和西)、ワークブック、問題集などできるだけ用意した方がよい。通学する際の服装は、制服を定めてないので日常着用している私服でよい、セーラー服やつめえり服は不要。水筒は必要。また法定の予防接種、結核検診等は内地で受けてくること。虫歯や持病のある方は、内地で治療をすませてくること。本校は精神弱児、身体障害児、虚弱児、学力遅進児等を指導する特殊教育のための人的、物的条件整備が絶無である。したがって、そのようなお子さんをお持ちの保護者は、海外出向前に、在籍校の意向は勿論、各種教育相談機関および海外子女教育振興財団等に相談し、熟慮の上適切な判断を得てほしい。そして、海外

在留の結論に至った場合は、本校転入前に、日本から本校校長との事前折衝をお願いしたい。

<参考資料>

●在留邦人子女の現地教育施設への通学概況●

学 校 名	在留邦人子女人数	備 考
小 学 校	ASOCIACION ESCUELAS LINCOLN	2 A. Ferreyra 4073 La Lucia
	VILLA DEVOTO SCHOOL	3 Pedro Moran 4447
	BELGRANO DAY SCHOOL	1 Conesa 2120 Capital Federal
中 学 校	ASOCIACION ESCUELAS LINCOLN	A. Ferreyra 4073 La Lucia
高 等 学 校	ASOCIACION ESCUELAS LINCOLN	5 A. Ferreyra 4073 La Lucia
	VILLA DEVOTO SCHOOL	1 Pedro Moran 4447

●現地教育施設の概況●

★小・中学校★

学 校 名 BELGRANO DAY SCHOOL
 所 在 地 Conesa 2120, Capital Federal
 学校の性格 英国系の私立学校(男女共学)
 学校の特色 ・主要言語 英語、スペイン語
 ・編入学時期 3月

・毎年夏休み明けの3月始めに編入を受け付ける。

・小学部(1~7年、1クラス平均25~30人で各学年4クラス)

中・高等部(1クラス平均25~30人で各学年2~3クラス)

父兄負担費

単位：円

項 目	小 学 校	中 学 校	備 考
入 学 金	8,000		1990年10月現在 3か月ごと25~30 名以上の値上げ
授 業 料	10,000		

入学手続きなど

(1)転入学申請書、(2)在学(卒業)証明書、(3)出生証明書を西語に翻訳し在日亜国領事館の査証を取得後、亜国外務省の証明を得て提出する。

★高等学校★

学校名 ASOCIACION ESCUELAS LINCOLN (AMERICAN COMMUNITY SCHOOL)

所在地 A. Ferreyra 4073, La Lucila, Buenos Aires

学校の性格 私立 アメリカ国際学校(当国公認校ではあるが当国高校大学への転入は不可能)。4歳~12年生まで約500名在学

学校の特色 ・主要言語 英語
・編入学時期 第1学期は8月1日より、ただし編入は何時でも可。1年間180日の授業日数。

国際色豊かな学校で半分はアメリカ人(52%)、あと半分はアルゼンチン(13%)、イスラエル、サウジアラビア、コロンビア、日本、アフリカ etc.と諸外国(26か国)からの生徒で占めている。

日本人生徒は小学部2名、高等部5名(80年10月1日)。

父兄負担費 単位：円

項目	高等学校	備考
入学金	約50,000	インフレのため2か月ごとに約20~30%ずつ値上がりする
授業料 (スクールバス 昼食込み)	約49,760 (2か月分)	

入学手続きなど

入学手続きは、何も必要ないが卒業のためには(編入者は)日本の中学ないし高校の時の成績証明と出席数などの書類が必要。

学校名 VILLA DEVOTO SCHOOL

所在地 Pedro Moran 4447

学校の性格 イギリス系私立校

学校の特色

幼稚園、小学校、中学校、高校がある。

幼稚園——午前中(やさしい英語を教える)

小・中・高——午前スペイン語、午後英語による授業。

英国のカリキュラムに基づき、行事(運動会など)、P.T.Aも行われる。高校卒業生は英国の高校卒業と同じ資格を与えられる。ケンブリッジ大学、ロンドン大学受験資格を得られる。

小学校/1クラス35~36名 各学年2~3クラス、

中・高校/1クラス35~36名 各学年1クラス

3月9日より1学期が始まり、3期制(11月30日3学期終り)。編入は3月上旬受け付けるが募集は前年10月より行われている。

父兄負担費 単位：円

項目	小1~3	小4~7	備考
授業料	約9,000	約12,000	1980年9月支払分、2か月ごとに値上がり

父兄負担費 単位：円

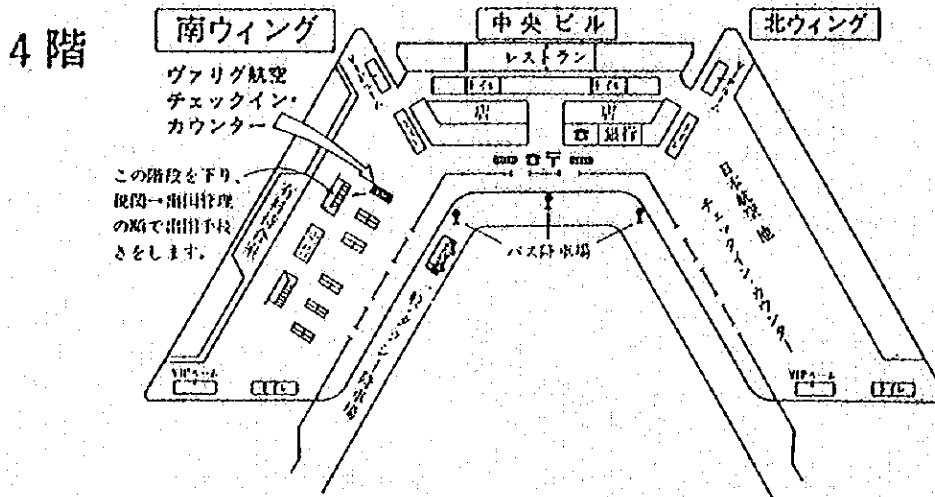
項目	中・高校	備考
入学金	約11,100	1980年9月支払分、2か月ごとに値上がり
授業料	約154,400	

入学手続きなど

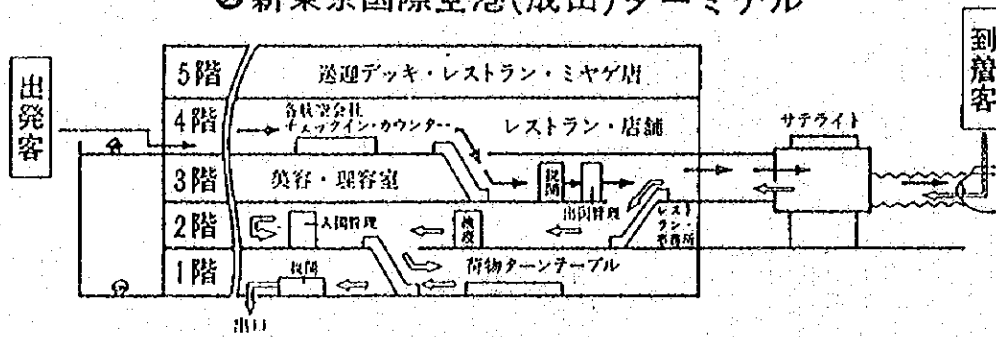
在学・卒業証明書、転入学申請書、出生証明書(日本人学校の方はさらに在日日本大使館の証明が要る)を西語に翻訳し、在日英国領事館の査証を得た後、英国外務省・文部省の認証を得る。文部省の認可は入学前には出ないため仮入学となる。

新東京国際空港 (成田)

◎ 出発ターミナルご案内



◎ 新東京国際空港(成田)ターミナル



◎ 空港までの交通機関ご案内

1981年11現在

交通機関	区 間	所要時間	大人料金 (片道)	備 考
スカイライナー	京成上野⇄京成 空港駅	上野/空港駅間は60分 駅/ターミナル間はバス で6分	¥ 1,460	平均して30分おきに運航 問合せ: 京成電鉄☎031-0131
リムジン	東京シティエアター ミナル⇄空港ター ミナル	70分	¥ 2,300	チケットを持たない航空会社の旅客は、1 時間に2~3本のみ運航の一般バスを利用。 問合せ: 東京空港交通☎665-7251
ホテル/空港間 バス	東京都内主要ホテル ⇄空港ターミナル間	80分~120分	¥ 2,500	1日に4本運航 予約が必要 問合せ: I.A. S.S. ☎562-6131
タクシー・車	(例) 東京都内⇄ 空港ターミナル	70分~90分	¥15,000~¥18,000 (含高速料金)	首都高速・京葉道路・東関東自動車道を経 由。高速料金のみで¥1,500位。

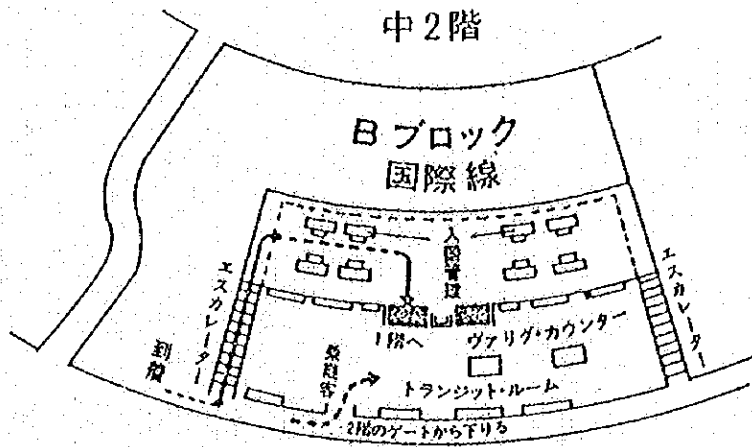
※国鉄の場合は、東京駅から成田駅まで1時間に約1本運航。成田駅から空港ターミナルまではバス又はタクシー利用。
※所要時間は交通の渋滞により、上記の時間よりもっとかかりますので、充分余裕をもってお出かけ下さい。

リオ・デ・ジャネイロ
(ブラジル)

新ガレオン国際空港

GALEÃO INTERNATIONAL AIRPORT
市内まで24km。車で45~60分位。空港コード：GIG

《到着》



トランジットのお客様

東京からお越しのお客様は、トランジット・ルームのヴァリグ航空のカウンターで、ブエノス・アイレス行きの搭乗券を受けとり時間まで待つ。係の案内で2階より搭乗。

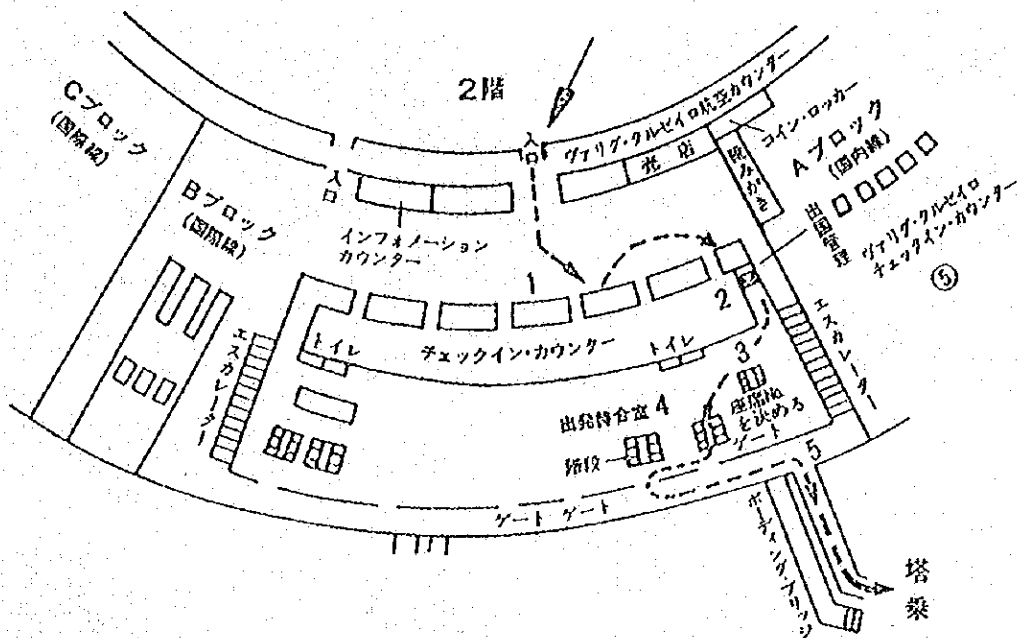
到着のお客様

到着の2階ゲートより左記中2階に下り入国管理を受け→さらに1階に下り税関検査を終了後外へ。

出発のお客様

下図の如く1でチェックイン→2で出国管理を受ける→3で座席番号を搭乗券に記入してもらう→時間がきたら指定のゲート上り搭乗。

《出発》



(1981年10月現在)

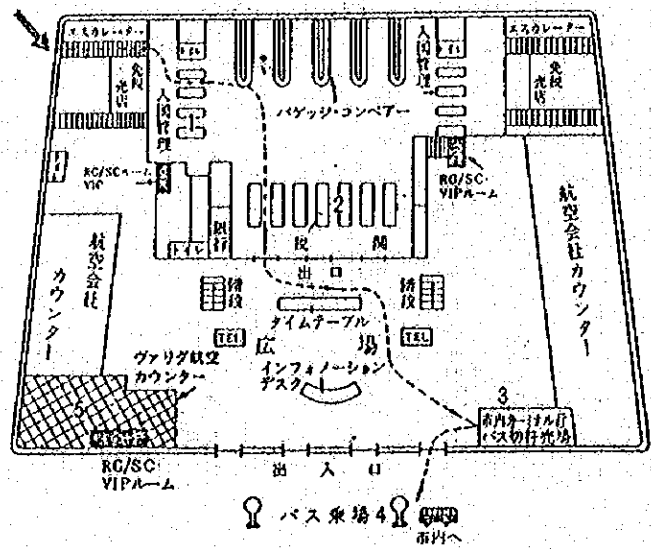
ブエノス・アイレス (アルゼンチン)

エゼイザ国際空港

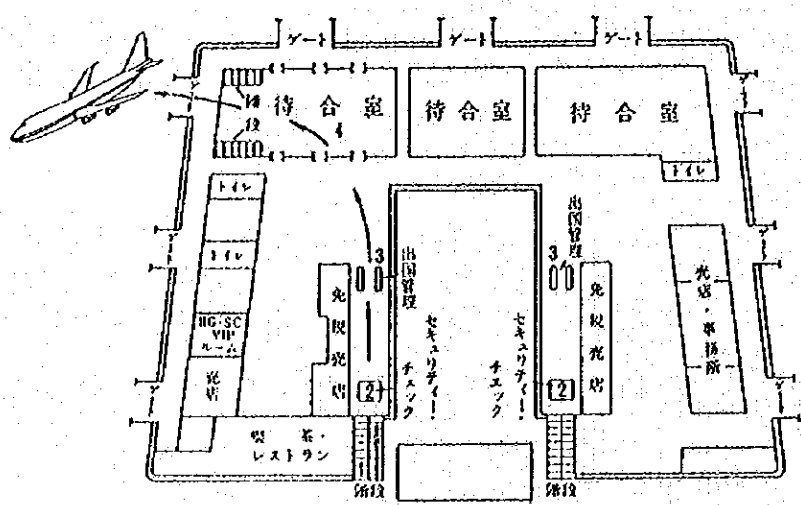
EZEIZA INTERNATIONAL AIRPORT
市内まで45km、バスで約60分。空港コード：EZE

RG 833/ RG 916 (東京/リオ リオ/ブエノス)	到着 火・土曜 午前 11:40	ブエノス・ アイレス	出発 水・土曜 17:10	RG 915/ RG 832 (ブエノス/リオ リオ/東京)
---	---------------------------	---------------	---------------------	---

《到着》……1階



《出発》……2階



到着のお客様 → の方向へ進む

出発のお客様 → の方向へ進む

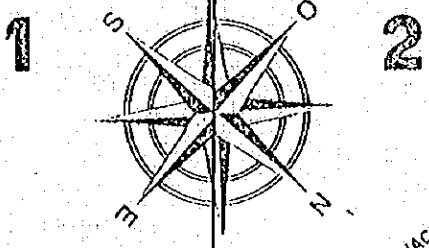
備考

- ①まず1の入国管理でパスポートと入国カードを提出。
- ②次に荷物を受取り2で通関を受ける。税関を出る前に、右手にある銀行である程度両替しておくこと。
- ③税関を出たら3で切符を買い、4からバスに乗り市内へ向かう。

- ①「到着」イラストの5(1階)で、チェックインをすませる。
- ②2階に上り、2でセキュリティチェックを受けた後、3で出国管理(旅券・出国カード・塔乗券提示)を通る。
- ③時間がきたら、指定のゲートより塔乗。

- ①エゼイザ空港は到着・出発とも、アルゼンチン航空と他社便との2つのターミナルに分かれている。
- ②出発のチェックイン時に、空港税を徴収される。

(1981年10月現在)



CONTINUACION 41

5

AVDA. ALVAREZ THOMAS

GRAL. MARTINEZ
CONDE
FREIRE
ZAPIOLA
CONEBA
CRAMER

9

DORREGO
AVENIDA CABILDO
FAMILIA
REGIMIENTO DE GRANADEROS
HOSPITAL VALETA CENTRAL
VILLANUEVA

CONTINUACION 29

LUIS MARIA CAMPOS
BOLSA DE VALORES
BOLSA DE LA PEA
MEGUELETES

13

CAMPO ARGENTINO DE POLO
AVENIDA DEL LIBERTADOR
HIPODROMO ARGENTINO

DORREGO

CAMPO MUNICIPAL DE GOLF
PLANTA PURIFICADORA DE AGUA
Gral San Martin
O.S.N.
AVENIDA LEOPOLDO LUONES
CLUB GARCIA YESGRIMA
Dr. B. A.

ALVAREZ THOMAS
AV. DE LOS ANDES
THOMAS
MILLER
LUGONES
ACHA
DONADO
HEREDIA
14 DE JULIO
ALFONSO

DONATO ALVAREZ
CONT. 35
MILLER
LUGONES
ACHA
DONADO
HEREDIA
14 DE JULIO
ALFONSO
W. MONZON

DELGADO
AVDA. FOREST
GRAL. MARTINEZ
ZAPIOLA
CONDE
FREIRE
ZAPIOLA
BELGRANO
CONEBA
CRAMER
VIOAL
MOLOES

DELGADO
AVDA. FOREST
GRAL. MARTINEZ
ZAPIOLA
CONDE
FREIRE
ZAPIOLA
BELGRANO
CONEBA
CRAMER
VIOAL
MOLOES
CONTINUACION 33

12

AMENABAR
CIUDAD DE LA PAZ
AVENIDA CABILDO
VUELTA DE OBLIGADO
CUBA
ARCOS
HIGGINS
30 DE FEBRERO
ARRIBENOS
BELGRANO
MONTANES

ARRIBENOS
BELGRANO
MONTANES
AVENIDA DEL LIBERTADOR
MIGUELETES
MINON S
ARTILLEROS
HUSARES
ORAGONEC
RAMSAY
CASTANEDA
Parque SAN BENITO DE PALERMO
AVDA. PTS. FIGUEROA ALCOITA

16

AVENIDA DEL LIBERTADOR
MIGUELETES
MINON S
ARTILLEROS
HUSARES
ORAGONEC
RAMSAY
CASTANEDA
Parque SAN BENITO DE PALERMO
AVDA. PTS. FIGUEROA ALCOITA

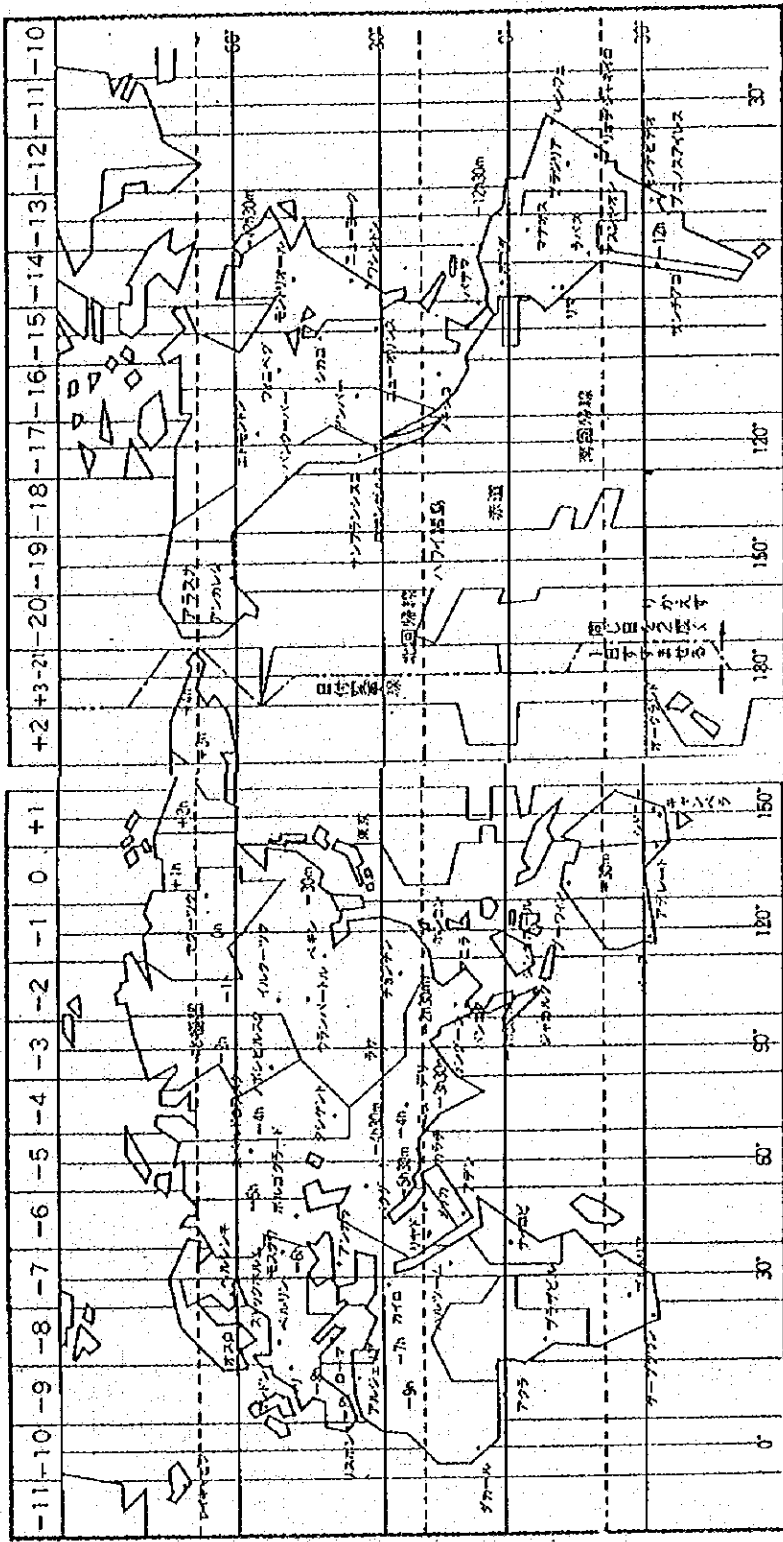
AVDA. PTS. FIGUEROA ALCOITA
YRSONI



JICA

メリスアイズ市内地図

世界主要地域時差表



9. 時差について

日本とアルゼンチンとの時差は、アルゼンチンの方が日本よりちょうど12時間遅れています。即ちアルゼンチンの午前10時は、日本の同日の午後10時に当ります。アルゼンチン国内では、時差はありません。

日本、アルゼンチン間の旅行は各々地球を半周する訳で、途中次々と時刻が変わりアルゼンチン又は日本に到着した時点で、時刻は各々出発地の時刻と12時間の時差がある訳です。到着後は最低半日か1日位は身体を休ませ早く時差ボケをなおし、現地の時間のリズムに合わせるようにしましょう。

